

体育学専攻

領域科目(体育・スポーツ学分野)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	教室	担当教員	授業概要	備考
01EH128	スポーツ産業学演習I	2	3.0	1	春AB秋ABC	水1 水2,3	5C412	仲澤 真, 嵯峨 寿	スポーツ産業研究に必要な理論や実務的な知見について学ぶとともに、当該領域の研究手法論について学習する。本授業はいずれの回においても複数指導体制(299 仲澤真, 257 嵯峨寿)で行い、主要先行研究の解説、主要な研究方法論の解説、研究計画の立案についての指導を通して、学位論文の作成に必要な基礎的な内容の習得を目的とする。	OATP7G1と同一。 その他の実施形態 オンライン(同時双方向型)と対面を併用する。
01EH167	スポーツ産業学演習II	7	3.0	2	通年	随時		仲澤 真, 嵯峨 寿	研究テーマの設定、先行研究のレビュー、研究の意義、研究の方法等、修士論文の作成に必要な研究指導を行う。	その他の実施形態 オンライン(同時双方向型)と対面を併用する。
01EH168	体育科教育学演習I	2	3.0	1	春AB秋ABC	水3 集中	5C212	長谷川 悦示, 佐藤 貴弘	体育の教科論、カリキュラム論、学習指導論、教師教育論に関する内外の文献を講読し、体育授業の学習指導論並びにその研究方法論について理解する。また、学校での校内授業研究に参加して、体育授業を分析・省察する視点について実習する。さらに学生が教師・生徒役を担当する模擬授業を利用して、授業の計画立案・実行・分析・省察の過程を通して学生が授業を飛躍させていくことを検証する。授業では、模擬授業等で収集した組織的観察データや授業省察データを活用して、統計手法や質的分析によって結果をまとめたり、ゲームパフォーマンス分析のためにStudioCode等による分析方法についても学修する。春・秋学期に数回の学校での授業研究を参観する機会がある。授業分析の演習については、授業参観ごとに実施する計画である。秋C学期については、つづは模擬授業の授業計画立案を課題とする。	OATP7H1と同一。 その他の実施形態 オンライン(同時双方向型)と対面を併用する。
01EH169	体育科教育学演習II	2	3.0	2	通年	随時		長谷川 悦示	体育科教育学の研究領域における学術論文を講読して、研究テーマの設定方法、先行研究のレビュー方法、研究における理論の選択、研究デザインの設定、データ収集の方法、データ分析の方法、結果のまとめ方、考察の進め方、さらに結論の書き方を学修して、最終的な修士論文を完成させる能力を身につける。 春学期においては、月曜日の午後の授業時間を基本として、毎週1回のゼミ形式で実施する。受講生は、研究論文を講読しながら、論文の背景となっている問題点と理論的な基盤を明確にして、研究デザインを具体的に構想する。研究方法に応じて教的データ並びに質的データの処理方法を決定して、修士論文研究に取り掛かる。秋学期においては、修士論文の進捗状況を随時、確認しながら、論文完成に向けて探求する。1ヶ月に1回程度、体育科教育学研究室での研究会(月曜17時から19時)において成果を発表して教員と所属学生からの意見交換を行う。	OATP7H2と同一。 その他の実施形態 オンライン(同時双方向型)と対面を併用する。
01EH170	体育授業観察分析演習	2	2.0	1	春AB	随時	5C212	長谷川 悦示	体育授業の観察法に関する基礎的知識を習得する。また、実際の授業を計画立案して観察法を分析し、その活用方法について理解することを学修する。 受講者はガイダンスにつづいて、数回の授業案検討会を行い、授業グループに分かれて教材研究、授業計画案を討議・作成し、模擬授業のリアルサルを行う。模擬授業は、筑波大学内体育施設(中央体育館等)で実施し、その後最終反省会を行う。 また、受講者はe-Learning授業評価システムを活用して模擬授業動画を視聴しながら授業省察を学修することを最終課題として学修する。	受講者は、第1回オリエンテーション(4月15日(月)17時~、5C212)に出席すること。 OATP7H3と同一。 オンライン(同時双方向型)
01EH144	体育・スポーツ学特別演習	0	3.0	2	通年	随時		清水 紀宏	社会人特別選抜入学者で体育・スポーツ学分野の学生の必修科目	社会人に限る。対面 14条特例対応科目
01EH145	体育・スポーツ学特別演習II	2	3.0	2	春AB	随時		清水 紀宏	年度途中で修了する体育・スポーツ学分野の学生は、領域科目の個別研究領域の演習IIの代わりに、この科目を履修する。 スポーツに関する国内外の専門文献、研究資料などの講読し、それについてディスカッションを行う。スポーツに関する研究法について学習し、研究を遂行する上で必要な基本概念、手段、手順などについて深く学習し、研究力を向上させる。関連分野の研究成果について議論を深め、修士学位論文を作成する。自分自身のテーマを決定し、研究遂行する。	年度途中で修了予定者のみ履修可 OATP7M2と同一。 対面

領域科目(健康体力学分野)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	教室	担当教員	授業概要	備考
------	-----	------	-----	--------	------	-----	----	------	------	----

01EH270	体育測定評価学演習I	2	3.0	1	通年	随時		西嶋 尚彦	目標:運動能力の研究に関する基礎的および先端的な科学研究の方法を理解し修得する。 授業計画の概要:達成度評価のテスト理論と尺度構成手続きを理解する。運動能力の測定方法を理解する。運動能力の測定モデルの理論を理解する。実技テストで測定できない動作技能や戦術技能を測定対象として、構成概念の測定モデルを想定して、測定項目を構成する。測定を実施する。	OATP8H1と同一。 オンライン(オンデマンド型)
01EH271	体育測定評価学演習II	2	3.0	2	通年	随時		西嶋 尚彦	目標:運動能力に関する実際の研究データの分析を通して、基礎的および先端的な研究方法を実践する。 授業計画の概要:測定されたデータからデータセットを作成し、データチェックし、欠損値を処理して、記述統計量を分析する。相関行列を算出して、多変量統計解析により、尺度特性を分析する。従属変数と独立変数から、平均値構造から要因の効果を測定する。論文を参照して、方法と結果を記述する。	OATP8H2と同一。 オンライン(オンデマンド型)
01EH242	スポーツバイオメカニクス演習I	2	3.0	1	春AB秋C	火6 火・木6		藤井 範久,小池 関也,佐渡 夏紀	スポーツバイオメカニクスに関する国内外の文献を購読し、現在のスポーツバイオメカニクス分野の研究課題などについてディスカッションする。また、修士論文に関する実験・データ分析の進捗状況を学会形式で発表し、教員、同じ研究領域の大学院生とディスカッションを行うことで、研究を進めていく上での課題を明確にするとともに、スポーツバイオメカニクス領域に関する幅広い知見を身につけることを目標とする。	教室:SPEC(体育総合実験棟) OATP8M1と同一。
01EH278	スポーツバイオメカニクス演習II	2	3.0	2	通年	随時		藤井 範久,小池 関也,佐渡 夏紀	修士論文作成に必要な国内外の文献を購読し、修士論文との関連性についてディスカッションする。データの分析結果に関する考察を学会形式で発表し、教員、同じ研究領域の大学院生とディスカッションを行うことで、できる限り客観的な考察を行う能力を身につけることを目標とする。また考察がまとまった段階においては、国内外の学会で研究発表を行い、学外のバイオメカニクス研究者からの意見についても積極的に取り入れるように指導する。	OATP8M2と同一。
01EH252	健康体力学特別演習	2	3.0	2	通年	随時		西嶋 尚彦	社会人特別選抜入学者で健康体力学分野の学生は、自身の所属する研究領域の演習IIの代わりに、この科目を履修することができる。	OATP8Q1と同一。 社会人に限る。オンライン(オンデマンド型) 14条特例対応科目
01EH283	健康体力学特別演習II	2	3.0	2	春AB	随時		西嶋 尚彦	年度途中に修了する健康体力学分野の学生は、領域科目の個別研究領域の演習IIの代わりに、この科目を履修する。研究成果について議論を深め、修士学位論文を作成する。	年度途中修了予定者のみ履修可 OATP8Q2と同一。 オンライン(オンデマンド型)

領域科目(コーチング学分野)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
01EH302	コーチング論・トレーニング学演習I	2	3.0	1	春AB秋C	月4 月3,4		前村 公彦,木内 敦詞,河合 季信,谷川 聡,松元 剛	スポーツ・コーチング及びトレーニングに関する内外文献の抄読や実践を通して、研究方法などを習得し、科学的知見に基づくコーチング及びトレーニングの在り方を探求する。	教室:体育学系棟A413 OATP9A1と同一。 対面
01EH292	コーチング論・トレーニング学演習II	2	3.0	2	通年	随時		前村 公彦,松元 剛,河合 季信,谷川 聡,木内 敦詞	スポーツ・コーチング及びトレーニングに関して、より発展的な内容に関して、内外文献の抄読や実践を行い、研究方法を身につけ論文作成能力を養う。	OATP9A2と同一。 対面
01EH318	陸上競技コーチング論演習I	2	3.0	1	春AB秋C	木3 金4,5	5C515	大山 圭悟,木越 清信	陸上競技の技術、トレーニング、指導法の研究について実践し、データ分析、プレゼンテーションについて学ぶ。	OATP9E1と同一。 その他の実施形態 オンライン(同時双方向型)と対面を併用する。
01EH369	陸上競技コーチング論演習II	5	3.0	2	通年	随時		大山 圭悟,木越 清信	陸上競技の技術、トレーニング、指導法の研究について実践し、データ分析、プレゼンテーションについて学ぶ。	その他の実施形態 オンライン(同時双方向型)と対面を併用する。
01EH321	水泳競技コーチング論演習I	2	3.0	1	春AB秋C	月4 月3,4		仙石 泰雄,角川 隆明,本間 三和子,高木 英樹	水泳競技(競泳・水球・シンクロ・飛込み)における競技レベルに応じた技術(各種泳法)、技術トレーニング、体カトレーニング、指導法について、国内外の文献をもとにし、現場におけるコーチングに貢献する研究課題を抽出し、検討する。また、その研究課題を解決する研究方法論について多角的に討議し、修士論文の作成に向けて必要な基礎的知識の獲得を目指す。	OATP9F1と同一。 オンライン(同時双方向型)
01EH372	水泳競技コーチング論演習II	1	3.0	2	通年	随時		本間 三和子,高木 英樹,仙石 泰雄	水泳に関連する内外・海外の文献・資料を題材として討議を行い、水泳の技術、トレーニング、コーチング等の専門的知識を身に付ける。	オンライン(同時双方向型)

01EH333	サッカーコーチング論 演習I	2	3.0	1	春AB秋 ABC	木3 木3,4	5C513	中山 雅雄, 小井土 正亮	サッカーコーチに求められる資質である論理的思考とコミュニケーション能力を高めることと、修士論文作成に向けての科学的手法によるサッカーのコーチングに関する問題解決能力を高める。サッカーの指導に必要な具体的な問題を自ら設定し、それに関わる内外の文献資料を広く収集する。そして、自らのテーマに関して口頭で発表し、発言能力を高める。	OATP9K1と同一。 対面
01EH380	サッカーコーチング論 演習II	2	3.0	2	通年	随時		中山 雅雄	自らが設定したサッカーのコーチングに関するテーマへのアプローチの仕方や、研究の進捗について、定期的に発表と討論を繰り返し、各種の文献を読解し専門的理解を深める。研究の実践を通して論文指導をおこなう。	OATP9K2と同一。 対面
01EH354	野外運動論演習I	2	3.0	1	春AB秋 ABC	火4 集中	5C307	坂本 昭裕, 渡邊 仁	本授業では、野外運動における自然と文化、人間理解等について、基本的な知識を修得し、理解を深めることを目標に、2名の教員によるオムニバス方式により、授業を実施する。	OATP9S1と同一。 対面
01EH392	野外運動論演習II	2	3.0	2	通年	随時		坂本 昭裕, 渡邊 仁	野外運動・野外教育分野における修士論文の作成に向けて、まず、興味関心のある実践や研究について国内外の動向を把握し、自分自身の研究課題を探求する。具体的には、関連する先行研究についてレビューし、研究課題あるいは、テーマの設定を行う。次に、研究・調査を計画し、研究課題を解決するための適切な研究方法論について学習し関連の知識を得る。これらについて、毎回プレゼンテーションを行い、研究を進める上での諸問題について討議する。	OATP9S2と同一。 対面
01EH393	野外運動論実習	2	2.0	1	春AB 通年	月5 集中	5C502	坂本 昭裕, 渡邊 仁	本時においては、野外教育に関連した外部団体と連携し、野外教育プログラムについて、1)企画・立案、2)実施・運営、3)評価に関与することを通して、総合的に野外教育事業をマネジメントする能力を修得することがねらいである。具体的には、企画では、野外教育事業の対象、目的、プログラム、組織について立案することを実習する。運営では、実地踏査、参加者の募集、参加者への指導を実践する。さらに評価においては、報告書等の作成を通じて振り返りを行う。	OATP9S3と同一。 対面
01EH364	コーチング学特別演習	0	3.0	2	通年	随時		渡辺 良夫	社会人特別選抜入学者でコーチング分野の学生の必修科目	14条特例対応科目 社会人に限る。その他 の実施形態 要相談
01EH365	コーチング学特別演習 II	2	3.0	2	春AB	随時		渡辺 良夫	年度途中で修了するコーチング学分野の学生は、領域科目の個別研究領域の演習IIの代わりに、この科目を履修する。専門文献、研究資料などの講読し、それについてディスカッションを行う。スポーツに関する研究法について学習し、研究を遂行する上で必要な基本概念、手段、手順などについて深く理解し、研究力を向上させる。関連分野の研究成果について議論することによって自分自身のテーマを決定し、修士学位論文を作成する。	年度途中で修了予定者のみ履修可 OATP9U2と同一。 その他の実施形態

コース科目(スポーツ文化・経営政策コース)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	教室	担当教員	授業概要	備考
01EH411	体育・スポーツ哲学	1	1.0	1	秋B	集中		深澤 浩洋	体育ならびにスポーツの概念、現状、背景となる思想・社会的状況について洞察する力を養うことを目指す。体育・スポーツ概念の鍵の一つである身体の捉え方や身体を経験をめぐって、体育哲学とスポーツ哲学のそれぞれのスタンスから講義を行う。 スポーツに関しては、身体的契機、知的契機、感性的契機の三契機から、また、体育に関しては、関係性、重層性、超越性という三つの視点から論ずる。 こうした基本的な考え方を踏まえつつ、体育・スポーツに関する現代の特徴を取り上げ、哲学的に考察、ディスカッションする。	OATP102と同一。 その他の実施形態 オンライン(オンデマ ンド型)で実施する が、一部同時双方向型 を用いる。 14時~17時:オンライ ン同時双方向型
01EH412	スポーツ史学	4	1.0	1	秋AB	火2		大熊 燦雨	人間の歩みの総体である歴史、その歴史に対するより正しい認識と解釈を求め人類が試みてきた様々な方法を学習する。資料を取り扱う諸学問に通じる質的研究方法、とりわけ史学の営みを通して、驚嘆する感性と懐疑する精神を身に付け、現代の体育・スポーツを意識的に探究する。講義は、受講生とのコミュニケーションを取りながら講義形式をベースに行い、人類進化の序幕、歴史とは何か、歴史研究とは何か、歴史学における原則、史料収集論、史料解読と解釈、歴史学における理論とスポーツなどを通して、スポーツを史的に探究する。	オンライン(オンデマ ンド型)

01EH413	武道学	4	1.0	1・2	春AB	水2		大石 純子	わが国の武道文化は、歴史の中で変化変容し、また、広く世界に広がりながら現代にいたっている。本授業では、まずそのあたりについて学ぶ。その上で、武道の精神性について古典文献等の講読を通して考える。	オンライン(オンデマンド型)
01EH434	スポーツ社会学	1	1.0	1・2	春AB	月4	5C316	清水 諭	スポーツ社会学に関する研究方法や基本的概念について学習する。スポーツと地域の暮らしや環境問題などについて様々なトピックスなどを取り上げて、社会学の立場から検討し、討議を行っていく。こうした学習活動を通じて、スポーツ社会学に関する理解を深める。	OATP106と同一。 その他の実施形態 対面とオンライン(同時双方向型)を併用する。
01EH415	スポーツ産業学	1	1.0	1・2	春AB	木4		仲澤 真	レジャー・スポーツ産業を対象に人文・社会科学的な視点から検討し、レジャー・スポーツ産業に関する基本的な知見を学習するとともに、当該領域における当面の問題を明らかにし、基本的研究課題を理解する。	OATP105と同一。 オンライン(同時双方向型)
01EH438	スポーツ政策学	1	1.0	1	春AB	水3		齋藤 健司, 成瀬 和弥, 菊 幸一	スポーツ政策の現状と課題に対する理解を深めるとともに、スポーツ政策学の理論と視座を考える。	OATP107と同一。 その他の実施形態 オンライン(オンデマンド型)と同時双方向型を併用する)
01EH401	フェアプレイ論	1	1.0	1・2	秋C	木5, 6		深澤 浩洋	フェアネスの歴史的概観やフェアプレイを奨励する運動を踏まえ、フェアプレイが主張される意味について、複数の価値観、道徳観から考察する。また、フェアプレイを奨励する運動に言及する。実際にフェアプレイに徹するスポーツパーソンを育成するにはどうしたらよいか、どのようにフェアプレイ教育を展開していけばよいかということについて考察し、自分なりの見解を論理的に展開できることを目標とする。 フェアネスの概念、スポーツのルールとエトス、フェアプレイの歴史、フェアプレイをめぐる問題の語られ方(個人と組織)、アンフェアの背景、フェアプレイキャンペーン、フェアプレイ奨励の方策、フェアプレイ教育の構想	OATP110と同一。 オンライン(オンデマンド型)
01EH417	身体文化論	1	1.0	1・2	春C	集中		深澤 浩洋, 大熊 燦雨, 大林 太郎	伝統文化、体操、体育、スポーツなどを具体的に取り上げながら、文化的社会的に構築される身体と身体観について理解を深める。文化社会学、歴史学、哲学を基礎にしながら領域を越えて議論し、身体文化に対するアプローチを切り開く。	OATP111と同一。 オンライン(オンデマンド型)
01EH405	武道文化論	1	1.0	1・2	秋AB	水2		酒井 利信	武道は日本で発祥し、長い歴史の中で宗教や芸能など様々な文化と交流をもちつつ独自の運動文化として成立したものである。そのユニークさゆえに海外ではジャパノロジー(日本学、日本研究)の対象ともなっている。世界で日本人がリーダーシップを取っていける数少ない領域であり、将来国際社会で活躍する者にとって必須の学習課題である。近年、日本刀ブームであるが、刀剣は単なる武器ではなく古来神聖なものとして扱われてきており、実に深淵な思想体系を有している。本講義は、武道文化の中でも刀剣の思想に焦点を当て、最新の研究成果をテキストとし、PBL(Problem Based Learning)方式で学習・議論を重ねていく。	OATP507と同一。 オンライン(オンデマンド型) 2022年度限り。
01EH433	スポーツマーケティング論	1	1.0	1・2	夏季休業中	集中	5C213	清水 紀宏, 醍醐 笑部	スポーツマーケティングの目的、方法に関する基礎理論を理解するとともに、商業スポーツ施設経営やスポーツイベント経営など具体的なスポーツ経営を事例にした検討を通して、実践的な考え方を養う。	OATP143と同一。 その他の実施形態 原則として対面で実施するが、場合によってはオンライン(同時双方向型)を併用する。
01EH432	地域スポーツ経営論	1	1.0	1・2					地域スポーツをめぐる政策動向とその背景をふまえ、地域スポーツクラブの現代的意義とその組織化の方法論について理解する。まず、地域スポーツ経営領域の特質と固有のミッションを基準としながら、わが国におけるクラブ育成状況やクラブマネジメントの実態を評価する。次に、この現状評価とクラブ理念型との乖離を埋めるクラブの戦略的課題を特定化する。さらに、経営課題を克服するための組織マネジメントの要点を、いくつかのクラブ先進事例から読み解くことで、コミュニティ振興とスポーツ振興の同時達成の方法を解説する。	西暦奇数年度開講。 OATP141と同一。 対面
01EH421	スポーツ法学	1	1.0	1	秋AB	火3		齋藤 健司	スポーツに関する基本法令、判例、法制度及び法的諸問題について概説し、スポーツ法学に関する理論、スポーツ法の体系及びスポーツ法政策の基礎知識を学ぶ。 スポーツ法の体系、スポーツ基本法、スポーツ権、スポーツ仲裁法、アンチ・ドーピング法、体育に関係する法令、スポーツの知的財産権、スポーツ放送法、プロスポーツ関連法、スポーツビジネス関連法、選手契約などを解説し、議論する。	OATP113と同一。 その他の実施形態 オンライン(オンデマンド型)と同時双方向型を併用する)

01EH422	スポーツ行政学	1	1.0	1	春AB	月6	5C216	成瀬 和弥	行政学の視点から、日本のスポーツを検討し、中央政府や地方政府の組織、制度及び政策などについて、その基礎知識を学ぶ。日本のスポーツ行政過程の構造や機能について理解を深める。また、授業の後半(5回目以降)にはグループディスカッションを行う。グループごとに日本のスポーツ問題を検討し、仮説を設定してその問題を解決するための方策を立案する。グループごとに、その内容を発表し、他のグループとディスカッションを行う。	OATP114と同一。 対面
01EH439	スポーツリスクマネジメント論	1	1.0	1	秋AB	火4		齋藤 健司	スポーツ活動におけるリスクマネジメント理論の応用を検討するとともに、スポーツ事故の法的責任、安全対策および事故防止策についての理解を深める。 リスクマネジメントの枠組み、プロセスなどの理論とそのスポーツへの応用、体育・スポーツ事故の統計データと事故原因、突然死、頭部外傷、脳震盪、熱中症、溺水事故、自然災害などの原因と対策、中止基準、健康調査、スポーツ事故の法的責任、スポーツ施設の法的責任、免責同意書等の法的防御書類などについて、事故事例及び判例を交えて解説する。	OATP142と同一。 オンライン(オンデマンド型)
01EH423	スポーツビジネス論	4	1.0	1・2	秋AB	木4		仲澤 眞, 嵯峨 寿, 高橋 義雄	(1)プロスポーツの運営や(2)スポーツメーカーのブランディング、(3)スポーツツーリズムなどを事例に、スポーツとビジネスの関係について理解を深めていく講義である。	オンライン(オンデマンド型)
01EH424	スポーツを通じた開発論	4	1.0	1	春AB	火3		山口 拓, 佐藤 貴弘	国際社会では、複雑に相互依存が深化する世界構造の下で、社会課題を改善するために、「地域・地球規模の連携」、「社会関係資本の構築」、「国際的課題の改善」を求める「スポーツを通じた開発」或は「開発と平和のためのスポーツ」行動が地球規模的に展開され始めている。 本講座では、国内外の課題を探索し、その課題に対して採られる「スポーツを通じた開発」の事例を各専門領域の理論によって読み解くために議論を交わしながら検討する。 (1)既存研究によるケースの批評的検討(3回)、 (2)課題的検討(2回)、(3)方法論的検討(2回)、 (4)実践的検討(3回)	その他の実施形態 オンライン(オンデマンドと同時双方向型を併用する。)
01EH425	スポーツメディア論	1	1.0	1・2	秋C	集中	5C616	清水 諭, 下竹 亮志	現代社会におけるスポーツイベントとメディアの親和性について、その歴史について学習し、映像メディアを介して表象化される人種、ジェンダー、ナショナルリティの諸問題について理解を深める。 1.スポーツイベントの成立構造について、スポーツの組織と連盟、メディア、資本主義企業、そして代理店の関係から説明することができるようにする。 2.身体パフォーマンスをもとにした集合的想像力と表象、及びその文化政治について例をあげながら説明することができるようにする。 3.人間とメディアとの関係について、歴史を踏まえて、例をあげながら説明することができるようにする。	OATP117と同一。 対面 各日9:00-17:00
01EH426	スポーツ文化・経営政策コース共通実習	2	1.0	1・2	通年	随時		仲澤 眞, 齋藤 健司, 深澤 浩洋	スポーツ文化・経営政策に関連する諸事象について問題発見・課題解決能力の涵養を図り、生きた知識を身につけることを目的とする。各自が選択した担当教員の指導の下、スポーツ関連施設や組織等で行われている活動に触れたり調査を行ったりする。	担当教員の元へ赴き、説明を受け、指導担当教員を決めること。スポーツ文化・経営政策コース必修 OATP118と同一。 その他の実施形態
01EH427	スポーツ文化・経営政策コースインターンシップ春	3	1.0	1・2	春0夏季休業中	随時		インターンシップ担当教員、三橋 大輔, 吹田 真士, 大山 圭悟, 新竹 優子, 池田 英治, 成瀬 和弥	春学期から夏季休業期間にかけて、スポーツや健康に関連する様々な組織(例えば、行政機関、スポーツ施設など)において、事前の学習計画に基づいて現場で実習を行う。このインターンシップによって、通常の教育課程では学ぶことのできない高度で実践的な経験を積むことができ、より専門的な知識やスキルを学び、社会で実践できる能力を養う。	同一コースの履修は、春または秋のどちらか1つとする。 OATP131と同一。 その他の実施形態
01EH428	スポーツ文化・経営政策コースインターンシップ秋	3	1.0	1	秋0春季休業中	随時		インターンシップ担当教員、三橋 大輔, 吹田 真士, 大山 圭悟, 新竹 優子, 池田 英治, 成瀬 和弥	秋学期から春季休業期間にかけて、スポーツや健康に関連する様々な組織(例えば、行政機関、スポーツ施設など)において、事前の学習計画に基づいて現場で実習を行う。このインターンシップによって、通常の教育課程では学ぶことのできない高度で実践的な経験を積むことができ、より専門的な知識やスキルを学び、社会で実践できる能力を養う。	同一コースの履修は、春または秋のどちらか1つとする。 OATP132と同一。 その他の実施形態

コース科目(健康・スポーツ教育コース)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	教室	担当教員	授業概要	備考
------	-----	------	-----	--------	------	-----	----	------	------	----

01EH471	体育科学学習指導論	1	1.0	1	秋AB	月2	5C212	長谷川 悦示	良質な体育授業を実施するために必要な学習指導上の諸条件とそれを具体化していくために必要な教員の資質について模擬授業の立案計画と実施による直接的な実践体験を通して学修する。体育科教育に必要とされる学習指導方略、学習指導過程、学習組織、学習指導モデルなど専門職知識と技能について理解を深める。 受講生は複数の授業者グループごとで、授業計画を立案し、教師役・生徒役・観察者を相互に役割分担して模擬授業を実施する。体育授業を分析する方法と授業を省察する能力の向上をねらって、受講者はe-Learningによる授業評価システムを用いてビデオ収録された授業映像を視聴しながら、観察分析データを参照して授業評価・省察を実施し、反省会ではそれをもとに討議する。第1～3回は指導案作成、第4～6回は模擬授業実施。第7回に中間反省会。第8～10回は修正案による模擬授業実施。第11回は最終反省会(最終課題の確認)を実施する。	専修免許の一括申請に必要となる科目。 OATP201と同一。 対面 春学期に受講希望者を対象にガイダンスを行うので、必ず出席するようにしてください。
01EH472	学校健康教育論	1	1.0	1	春C	集中	5C212	片岡 千恵,野津有司	本授業では、学校における健康および安全の課題について、教育的視点から論じる。具体的には、学校における健康教育の現状と課題について解説するとともに、喫煙防止教育、飲酒防止教育、薬物乱用防止教育、食に関する指導、性に関する指導等を取り上げ、その内容と方法について講義する。また、学校における健康教育の指導者として身に付けるべき資質・能力について概説する。本授業を通して、学校における健康教育の課題、考え方や進め方等について、理解を深めることを目的とする。	各日10:10-18:00 OATP202と同一。 対面
01EH473	アダプテッド・スポーツ教育論	1	1.0	1	秋AB	月4	5C506	齊藤 まゆみ,澤江幸則	特別支援教育におけるアダプテッド・スポーツ教育について、特別支援教育の制度とアダプテッド・スポーツ、障害のある生徒とアダプテッド・スポーツ、インクルーシブ体育とアダプテッド・スポーツ、体育・スポーツにおける支援という視点から講述し、アダプテッド・スポーツの方法について ICF(International Classification of Functioning, Disability and Health)の概念をもとに説明できること、発達障害のある子どもの実態を複合的に説明でき、発達障害のある子どもの支援に対して多面的にアイデアを出すことができることを目標としている。	OATP203と同一。 対面
01EH465	スポーツカウンセリング論	1	1.0	1	春AB	水2		坂入 洋右	カウンセリングの基本的な理論と技法を理解するとともに、スポーツ競技者や生徒や一般成人の心身の健康増進および競技や日常生活におけるパフォーマンスの向上を目的とした指導や援助の基本的技術を学ぶ。スポーツ競技者や生徒や一般成人の心身の問題の改善やパフォーマンス向上を目的とした心理的サポートとして、指導者や援助者に必要なカウンセリングの理論と方法を、健康心理学およびスポーツ心理学の最新の知見を踏まえて学ぶ。	AT必修科目 OATP204と同一。 AT必修科目: オンライン(同時双方向型)
01EH720	大学体育教育論	1	1.0	1・2	春C	応談		木内 敦詞,本間三和子,高木 英樹,鍋倉 賢治,坂本 昭裕,長谷川悦示,金谷 麻理子,奈良 隆章,松尾 博一	体育を専攻しない大学生への体育授業や運動部活動のあり方を考えることは、将来の大学体育教員をめざす大学院生へ向けたキャリア教育ともいえる。これらを踏まえ、本授業では、大学生のための教養体育授業や運動部活動に焦点をあて、それらを体系的・多面的に学ぶ。	Zoomなどリアルタイム双方向サービスを用いて正規の授業期間に開講する(manabaの併用を含む) OATP206と同一。 オンライン(同時双方向型)
01EH431	学校体育経営論	1	1.0	1	秋AB	木5	5C506	清水 紀宏	現在生じている学校体育及びその関連問題についての相互批判的議論を通じて、多角的で俯瞰的な視野をもつと共に、学校体育の総合的な経営理念や経営哲学を鍛える。具体的には、「学校体育における専門性とは何か」「学校体育における教育内容の選択原理は何か」「義務教育における自由化(競争原理の導入)の是非」等の本質的問いについて、ディベート形式の集団討議を通じて議論を深める。そして最終的には、学校体育経営の哲学の根幹となる「学校体育の存在意義」について批判的に考察し、各自の教育改革プランを構想する。	西暦偶数年度開講。 OATP212と同一。 対面
01EH664	舞踊授業指導論	1	1.0	1	秋AB	木2	5C506	寺山 由美	体育授業としての舞踊(ダンス)の授業(学習指導)における理論と実践方法について関連する文献と実践事例を基に検討するとともに、主な学習内容(創作系、リズム系、フォークダンス系)の特性を踏まえた指導計画を作成し検討していく。ダンスの特性、学習内容、指導計画、指導言語、学習評価などに着目し、舞踊の授業指導への理解を深める。それらの知見を基に、学習者と指導者の関係性から授業をどのように創造していくのかを検討する。	教室:体育学系棟A415(舞踊作業室) 西暦偶数年度開講。 OATP242と同一。

01EH477	武道授業指導論	4	1.0	1	春AB	月1	柔道場、剣道場	香田 郡秀, 有田 祐二, 銅山 隆弘, 岡田 弘隆, 増地 克之	学校における武道の指導法について検討し実習する。	教室: 武道館 柔道場、剣道場
01EH478	スポーツ心理学	1	1.0	1	夏季休業中	集中		雨宮 怜	アスリートの心理サポート現場での心理的諸問題の解説ならびに課題への対処方法について概説する。 授業項目: スポーツ心理学(臨床スポーツ心理学)の歴史と概観、心理サポートのアプローチ、スポーツメンタルトレーニングの概要、スポーツカウンセリングの概要、実践と研究、心理臨床学的方法、タレント発掘、青年期におけるスポーツ経験と人格形成、スポーツ傷害と心理(事例中心)、メンタルトレーニング事例、アスリートの相談事例	AT必修科目 OATP214と同一。 オンライン(同時双方向型)
01EH142	運動学習心理学	1	1.0	1	秋AB	月4		國部 雅大	人間の運動学習(Motor Learning)と運動制御(Motor Control)について、知覚-運動統合の過程を中心に学ぶ。	AT必修科目 OATP215と同一。 オンライン(オンデマンド型)
01EH480	保健教材論I	4	1.0	1					本授業では、中学校および高等学校における保健科教育の教材について分析し、実践的に演習する。保健の教育内容を踏まえて、学習者の思考・判断を促したり、学習意欲を高めたりするような教材のあり方について理解するとともに、その具体的な教材づくりを行う。また、作成した教材を授業の中でどのように活用するかについてディスカッションする。本授業では、保健科教育における教材の分析を通して、教材開発や活用方法についての理解を深めることを目的とする。	西暦奇数年度開講。 対面
01EH481	保健教材論II	4	1.0	1	秋C	金1,2	5C212	片岡 千恵	高等学校における保健科教育の教材について分析し、実践的に演習する。	西暦偶数年度開講。 対面
01EH204	保健社会学	1	1.0	1	秋AB	金3		武田 文, 門間 貴史	健康の概念に関する医学モデルと社会モデルの各理論、健康づくり、健康増進および健康の社会的要因に関する基本パラダイムを学ぶ。また超少子高齢社会における公衆衛生の基本戦略、親子保健・老人保健の各領域における直近の健康課題とそれに対応する各種の法制度・政策・サービスの現状を理解する。	教室: 総合研究棟D117 OATP210と同一。 オンライン(オンデマンド型)
01EH484	野外教育プログラム論	1	1.0	1	春AB	木2	5C316	渡邊 仁	本授業では、野外教育で展開される各種プログラムを多面的に理解し、野外教育プログラムを自ら計画・運営・評価する能力を高めることを目標とする。具体的には、各種プログラムの特徴・目的・指導法・安全管理等について理解を深めるとともに、プログラムの計画や運営する能力を高め、地域の様々な資源(自然環境、地域文化等)を生かしたプログラム開発に取り組む。授業の最終回には、グループワークとして、ある条件を満たした「野外教育プログラム」のプレゼンテーションが課される。	OATP217と同一。 対面
01EH636	野外教育実習(キャンプ)	3	1.5	1	秋B	集中		坂本 昭裕, 渡邊 仁	本授業では、代表的な野外教育プログラムの形態である「組織キャンプ」について、自らその教育的価値を実体験しながら、基本的な計画(事前授業)・運営(本実習)・評価(事後授業)の方法を実践的に学習する。具体的なプログラムや学習内容は、野外生活スキル、冒険教育プログラム、環境教育プログラム、キャンプマネジメント、キャンプカウンセリング、指導法、安全教育と安全管理、環境倫理、環境配慮スキル、サバイバル技術等を含んでいる。	対面 6/10のオリエンテーションに参加のこと。
01EH486	野外教育指導論	1	1.0	1	春AB	火5		坂本 昭裕	野外教育プログラムであるキャンプやASE(Action Socialization Experience)指導の特徴の一つは、グループを指導することにある。本時では、1) キャンプやASEなどのグループカウンセリングの理論と方法について理解すること。2) グループの特徴について体験的に理解すること。3) 自然体験活動を活用したプログラムにおけるカウンセリングの諸課題について理解することが目的である。なお、2)については、野性の森内のASE施設における活動を実際に体験することによって理解を深める。	OATP218と同一。 オンライン(同時双方向型)
01EH487	体育授業観察分析法I	4	1.0	1	秋AB	随時		長谷川 悦示	体育授業の組織的観察法についての、そのねらい、手段、手順を学習し、この方法を用いて実際の体育授業を観察し分析し評価する能力を育成する。 学習目標: 体育の学習指導を方向付けている様々な研究法や理論について理解する。また、実際の授業を観察し、そこに適用されている学習指導論を分析、評価することによって、基礎的な研究力を養う。	「体育科学習指導論」を履修中もしくは修得済みの者に限る。春学期に受講希望者を対象にガイダンスを行うので、必ず出席するようにしてください。 その他の実施形態 対面とオンライン(同時双方向型)を併用する。

01EH488	体育授業観察分析法II	4	1.0	1	秋AB	随時		齊藤 まゆみ, 澤江 幸則	アダプテッド体育の視点をもった授業づくりのための理論を学び、特別支援学校や特別支援教育対象生徒が参加する体育授業を観察評価するとともに教材開発を行う。	アダプテッド体育に関する教材作成、つくりんびく(12月第2日曜) 対面
01EH489	体力学特講	1	1.0	1・2	春AB	金1	5C407	木塚 朝博, 鍋倉 賢治, 小野 誠司, 榎本 靖士	体力・運動能力に関する様々な概念や構成要素を復習し、発達加齢段階や各種レベルに応じた測定法、最新の解析法を解説することを通して、運動遊び、エクササイズ、トレーニングなどが、健康体力や競技体力に及ぼす効果について学ぶ。	対面で実施したいが、状況によってはオンデマンドで実施する。OATP301と同一。AT必修科目
01EH490	健康・スポーツ教育コースインターンシップ春	3	1.0	1・2	春0夏季休業中	随時		インターンシップ担当教員, 三橋 大輔, 吹田 真士, 大山 圭悟, 新竹 優子, 池田 英治, 成瀬 和弥	春学期から夏季休業期間にかけて、スポーツや健康に関連する様々な組織(例えば、学校における授業や部活動、行政機関など)において、事前の学習計画に基づいて現場で実習を行う。このインターンシップによって、通常の教育課程では学ぶことのできない高度で実践的な経験を積むことができ、より専門的な知識やスキルを学び、社会で実践できる能力を養う。	同一コースの履修は、春または秋のどちらか1つとする。OATP231と同一。その他の実施形態
01EH491	健康・スポーツ教育コースインターンシップ秋	3	1.0	1	秋0春季休業中	随時		インターンシップ担当教員, 三橋 大輔, 吹田 真士, 大山 圭悟, 新竹 優子, 池田 英治, 成瀬 和弥	秋学期から春季休業期間にかけて、スポーツや健康に関連する様々な組織(例えば、学校における授業や部活動、行政機関など)において、事前の学習計画に基づいて現場で実習を行う。このインターンシップによって、通常の教育課程では学ぶことのできない高度で実践的な経験を積むことができ、より専門的な知識やスキルを学び、社会で実践できる能力を養う。	同一コースの履修は、春または秋のどちらか1つとする。OATP232と同一。その他の実施形態
01EH623	スポーツ運動学	1	1.0	1	春AB	木2		中村 剛	発生運動学としてのスポーツ運動学の学問成立の経緯、基本概念、運動の分析法を講義して、運動の実現場および研究においてもつスポーツ運動学の意義、価値の理解を深める。具体的には、体育・スポーツ領域において使われている運動の概念についての整理、運動をゲシュタルト(運動ゲシュタルト)として認識することの重要性、現場において取り上げられる動きの質の問題、実際の動きを取り上げる際に重要になる生命的な時空間の問題、そして、「できる」ということを考える際に不可欠な身体知の問題、その「できる」を支える「動感」の問題、動きの意味と価値の問題、スポーツ運動学と現象学の関係、などについて講義する。	AT必修科目 OATP506と同一。AT必修科目。オンライン(オンデマンド型)
01EH621	トレーニング学	1	2.0	1	春AB秋AB	木1		前村 公彦, 谷川 聡	スポーツトレーニングを推進するための適切な目標と課題の設定法、課題解決法や手段の選択・創造法、時間資源と時系列的な関連性を考慮した計画立案法、効果的なトレーニング実践法、トレーニング効果のアセスメント法に関する理論を理解し、高度なトレーニング実践を展開できる知を学習する。また、トレーニング学独自の学領域としてのオリジナリティーとその研究方法論について学んでいく。	AT必修科目 OAS0203と同一。オンライン(オンデマンド型)
01EH604	コーチングのバイオメカニクス	1	1.0	1・2	秋AB	月3	5C506	榎本 靖士	スポーツの技術やトレーニングを考えるための基礎となるバイオメカニクスの諸原則、動作の改善ループの考え方とその応用法、バイオメカニクスデータの解釈などについて解説し、これらの知識を動作の改善に活用するための基礎的能力を身につけることを学習目標とする。具体的には、スポーツ技術のバイオメカニクスのとらえ方、力学的エネルギー・効率・有効性指数の算出法の解説、選手の動きを評価・診断・改善するためのバイオメカニクスの知識の重要性の解説などを通して、客観的知識を基礎とするコーチングについて学習させる。	OATP501と同一。対面
01EH438	スポーツ政策学	1	1.0	1	春AB	水3		齋藤 健司, 成瀬 和弥, 菊 幸一	スポーツ政策の現状と課題に対する理解を深めるとともに、スポーツ政策学の理論と視座を考える。	OATP107と同一。その他の実施形態 オンライン(オンデマンド型)と同時双方向型を併用する)
01EH439	スポーツリスクマネジメント論	1	1.0	1	秋AB	火4		齋藤 健司	スポーツ活動におけるリスクマネジメント理論の応用を検討するとともに、スポーツ事故の法的責任、安全対策および事故防止策についての理解を深める。 リスクマネジメントの枠組み、プロセスなどの理論とそのスポーツへの応用、体育・スポーツ事故の統計データと事故原因、突然死、頭部外傷、脳震盪、熱中症、溺水事故、自然災害などの原因と対策、中止基準、健康調査、スポーツ事故の法的責任、スポーツ施設の法的責任、免責同意書等の法的防御書類などについて、事故事例及び判例を交えて解説する。	OATP142と同一。オンライン(オンデマンド型)

01EH422	スポーツ行政学	1	1.0	1	春AB	月6	5C216	成瀬 和弥	行政学の視点から、日本のスポーツを検討し、中央政府や地方政府の組織、制度及び政策などについて、その基礎知識を学ぶ。日本のスポーツ行政過程の構造や機能について理解を深める。また、授業の後半(5回目以降)にはグループディスカッションを行う。グループごとに日本のスポーツ問題を検討し、仮説を設定してその問題を解決するための方策を立案する。グループごとに、その内容を発表し、他のグループとディスカッションを行う。	OATP114と同一。 対面
01EH551	体育測定評価学特講(発育発達学を含む)	1	1.0	1・2	春AB	木1		西嶋 尚彦	目標:運動能力とその発達、体育、運動・スポーツにおける測定学および評価学の基礎的および先端的な研究方法について理解する。専門とする研究分野における基礎的および先端的な実験方法、調査方法における測定方法を理解する。 授業計画の概要:尺度水準と水準ごとの記述統計量、体育評価で用いる達成度評価テストの構成、運動技能の達成度評価、動作技能の達成度評価、戦術技能の達成度評価、構造方程式モデリングを適用した因果関係の測定、実験デザインと分散分析による平均値の差で要因の効果を測定する。スポーツビッグデータからプレーの達成度を測定する。	OATP307と同一。 オンライン(オンデマンド型)

コース科目(ヘルスフィットネスコース)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
01EH531	スポーツ生理学特講	1	1.0	1	春AB	水2		武政 徹,西保 岳,藤井 直人	スポーツ、トレーニング及び健康増進に関わる骨格筋系、呼吸循環及び体温調節系の役割について理解するため、以下のキーワードに関連して解説する。 骨格筋系のキーワード:重村式トレーニング法、筋肥大、遺伝子ドーピング、サルコペニア、冬眠、レーシングパフォーマンスを上げる遺伝子、老化を遅らせる運動 呼吸循環系のキーワード:ガス交換、酸素摂取量、血管調節、発汗調節、高地トレーニング、暑熱順化、水分調節	AT必修科目 OATP302と同一。 AT必修科目。オンライン(オンデマンド型)
01EH532	スポーツ生化学特講	1	1.0	1	春AB	火1		征矢 英昭,岡本 正洋,松井 崇	スポーツ生化学に関する国内外の専門書、文献、研究論文等を講読し、スポーツ生化学の対象領域、基本概念、研究方法などを学習することによって研究に必要な基礎的能力を身に付ける。運動が身心に及ぼす影響とトレーニング効果に関してスポーツ生化学の立場から理解を深め、健康や運動パフォーマンスの維持・増進のメカニズムを理解する。演習の最後に受講生の発表会を行い、教員と受講生の間で討議を行う。参考図書:脳を鍛えるには運動しかない(NHK 出版)、からだの中からストレスをみる(学会出版センター)、使えるスポーツサイエンス(講談社サイエンティ)	AT必修科目 OATP303と同一。 AT必修科目。オンライン(オンデマンド型)
01EH533	スポーツ栄養学特講	1	1.0	1・2	秋AB	月2		麻見 直美,下山 寛之	時代に即したスポーツ・運動栄養学への理解を深めるために、運動(身体活動)、トレーニング、スポーツに関連した栄養、食生活、食事摂取基準、酸化ストレス、抗酸化ビタミン、エネルギー代謝、糖代謝、脂質代謝、タンパク代謝、骨(フィーマールアスリートトライアドを含む)、貧血、水分代謝、休養(睡眠・時差)などのトピックスを取りあげて、講義を行う。加えて、スポーツ栄養の今日的現場課題について問題理解と解決策検討について議論する。	AT必修科目 OATP304と同一。 AT必修科目。オンライン(オンデマンド型)
01EH489	体力学特講	1	1.0	1・2	春AB	金1	5C407	木塚 朝博,鍋倉 賢治,小野 誠司,榎本 靖士	体力・運動能力に関する様々な概念や構成要素を復習し、発達加齢段階や各種レベルに応じた測定法、最新の解析法を解説することを通して、運動遊び、エクササイズ、トレーニングなどが、健康体力や競技体力に及ぼす効果について学ぶ。	対面で実施したいが、状況によってはオンデマンドで実施する。 OATP301と同一。 AT必修科目
01EH550	健康増進学特講	1	1.0	1・2	春AB	月2	5C302	大藏 倫博	加齢に伴う生活機能の変化と健康との関連に基づき、健康増進(サクセスフルエイジング)に必要なトレーニング法、生活実践法などについて講義する。一般健康者、高齢者、有患者に対する運動処方についても講義する。学習目標は、中期から高齢期までのヘルスプロモーションのあり方および加齢にともなう体力(生活機能)の低下と健康との関連について理解することである。特に、サクセスフルエイジング、元氣長寿のための運動プログラム、中期における体重管理の意義、健康におよぼす運動習慣化の効果、保健指導の問題点と健康支援の重要性、統計データから読み解く高齢者問題、生活機能、身体機能と介護予防の関係、認知機能と介護予防の関係、心理社会機能と介護予防の関係について学ぶ。	OAS0202と同一。 オンライン(同時双方向型)

01EH551	体育測定評価学特講(発育発達学を含む)	1	1.0	1・2	春AB	木1	西嶋 尚彦	目標:運動能力とその発達、体育、運動・スポーツにおける測定学および評価学の基礎的および先端的研究方法について理解する。専門とする研究分野における基礎的および先端的な実験方法、調査方法における測定方法を理解する。 授業計画の概要:尺度水準と水準ごとの記述統計量、体育評価で用いる達成度評価テストの構成、運動技能の達成度評価、動作技能の達成度評価、戦術技能の達成度評価、構造方程式モデリングを適用した因果関係の測定、実験デザインと分散分析による平均値の差で要因の効果を測定する。スポーツビッグデータからプレーの達成度を測定する。	OATP307と同一。 オンライン(オンデマンド型)	
01EH552	ヘルスフィットネス橋渡し研究概論	1	1.0	1	秋AB	月1	征矢 英昭,西保岳,武政 徹,西嶋尚彦,鍋倉 賢治,木塚 朝博,小野誠司,榎本 靖士,麻見 直美,大藏倫博,岡本 正洋,松井 崇	ヘルスフィットネス分野における基礎的研究と応用・臨床的研究の関係性および研究をスポーツ実践(現場)や生活・健康に生かすための課題や工夫について解説する。	OATP306と同一。 オンライン(オンデマンド型)	
01EH553	スポーツ生理学実験	3	2.0	1・2	春AB秋AB	金4,5	武政 徹,西保 岳,藤井 直人	スポーツ、トレーニング及び健康増進に関わる骨格筋系、呼吸循環系の下記のキーワードに関する研究方法を理解することを目的として、実験実習を行う。履修はスポーツ生理学の基礎を学んだものに限る。 骨格筋系のキーワード:筋肥大、筋持久力増強、筋萎縮を誘導する動物(マウス)実験系、打撲刺激、鍼刺激、切片の免疫組織化学、蛋白質解析(ウエスタンブロット)、mRNA解析(Real-time PCR)、培養骨格筋細胞、細胞外フラックスアナライザー 呼吸循環系のキーワード:最大酸素摂取量、血管機能測定、呼吸機能測定、体温調節機能	スポーツ生理学特講の受講者に限る 原則、運動生理学領域に所属する学生のみ受講可能とする OATP312と同一。 その他の実施形態要相談	
01EH554	スポーツ生化学実験	3	2.0	1・2	秋AB	火1,2	5C302	征矢 英昭,岡本正洋,松井 崇	実験を行うことを通して、実験機材の取り扱いかた、研究資料の収集法、実験材料の分析法を身に付ける。これによって、運動と代謝・内分泌応答に関する基礎的測定と評価法を理解し、研究を遂行できる実践能力を養成する。	スポーツ生化学特講の受講者に限る OATP313と同一。 対面
01EH545	ヘルスフィットネスコースインターンシップ春	3	1.0	1・2	春C夏季休業中	随時	インターンシップ担当教員:三橋 大輔,吹田 真士,大山 圭悟,池田 英治,成瀬 和弥,新竹 優子	春学期から夏季休業期間にかけて、スポーツや健康に関連する様々な組織(例えば、地域スポーツクラブ、スポーツや健康に関連する企業や研究所など)において、事前の学習計画に基づいて現場で実習を行う。このインターンシップによって、通常の教育課程では学ぶことのできない高度で実践的な経験を積むことができ、より専門的な知識やスキルを学び、社会で実践できる能力を養う。	同一コースの履修は、春または秋のどちらか1つとする。 OATP331と同一。 その他の実施形態	
01EH556	体力学実習	3	2.0	1・2	春ABC秋AB	随時	鍋倉 賢治,木塚朝博,小野 誠司,榎本 靖士	体力科学、体力・運動能力、体力トレーニング、運動遊びなどに関する国内外の学術論文、解説、著書、マニュアルなどを参考に、体力学領域における研究計画、研究方法、プレゼンテーションについて実習する。	体力学領域の所属学生に限る。教室:5C127 OATP314と同一。 その他の実施形態	
01EH557	健康増進学実習	3	2.0	1・2	春ABC秋AB	随時	大藏 倫博,渡部 厚一	一般健常者、高齢者、有疾患者を対象とした健康指標の検査・測定方法およびトレーニング方法の実際を学習する。学習目標は、中年から高齢者、有疾患者を対象とした健康運動指導法および健康支援法に関する実際を学び、基本的な指導ができるようになることである。	原則として、健康増進学領域の所属学生に限る OATP315と同一。 対面	
01EH558	体育測定評価学実習(発育発達学を含む)	3	2.0	1・2	通年	随時	西嶋 尚彦	目標:実験や調査のデータを統計分析して、結果を図表でまとめる。スポーツデータサイエンスのデータ分析手法を適用して、試合のプレー、トレーニング分析などのデータから知見をマイニングする。 授業計画の概要:自分の研究データを用いて、実験デザインおよび調査デザインに適合した統計分析手法を適用し、データを分析する。研究論文を参照して、方法を記述し、結果の図表を作成する。データ分析の手続きに従い、従属変数と独立変数、平均値構造と相関構造、因果関係の分析モデルを理解する。	体育測定評価学特講受講者に限る OATP316と同一。 オンライン(オンデマンド型)	
01EH559	基礎ヘルスフィットネス演習	3	1.0	1・2	秋AB	水1	征矢 英昭,西保岳,武政 徹,西嶋尚彦,鍋倉 賢治,木塚 朝博,小野誠司,榎本 靖士,麻見 直美,大藏倫博,下山 寛之,松井 崇,藤井 直人	最新のヘルスフィットネス分野の研究に関する動向を学び、研究デザインの組み立て方や分析方法について修得する。健康体力学分野に所属する教員がオムニバス方式で担当する。	OATP321と同一。 オンライン(オンデマンド型)	

01EH560	ヘルスフィットネス コースインターンシ ップ秋	3	1.0	1	秋0春季 休業中	随時		インターンシップ 担当教員、三橋 大 輔、吹田 真士、大 山 圭悟、新竹 優 子、池田 英治、成 瀬 和弥	秋学期から春季休業期間にかけて、スポーツや健 康に関連する様々な組織(例えば、地域スポーツ クラブ、スポーツや健康に関連する企業や研究所 など)において、事前の学習計画に基づいて現場 で実習を行う。このインターンシップによって、 通常の教育課程では学ぶことのできない高度で実 践的な経験を積むことができ、より専門的な知識 やスキルを学び、社会で実践できる能力を養う。	同一コースの履修は、 春または秋のどちらか 1つとする。 OATP332と同一。 その他の実施形態
01EH561	運動器のしくみと働き (基礎編)	1	1.0	1・2	春AB	火3		足立 和隆	運動器を構成する骨格、筋、神経系の概要を学 ぶ。生物の形態は、その機能と深いかわり を持っている。地上性の脊椎動物(哺乳類)では、基 本的に自身の身体の移動のために最も適した、骨 格に基盤とする身体プロポーションをもち、その 骨格をその目的(歩行、走行)が効率的に行えるよ うに筋が配置され、また筋の特性もその運動に あっている。歩行、走行以外にも重要な運動があ るが、いずれの運動においても関節の構造も大切 であり、関節が運動を「制限」することによって 目的とした運動が実現されることになる。運動器 にはさらに、腱、靭帯も重要な要素としてかか わっている。神経系は、これらの特性も考慮して 筋に指令を出している。このようなことがらにつ いて、詳細を解説していく。	AT必修科目 OATP401と同一。 AT必修科目。オンライ ン(オンデマンド型)
01EH576	スポーツバイオメカニ クス特講	1	1.0	1	秋AB	火4	5C513	藤井 範久	スポーツ動作や様々な基礎的運動をバイオメカニ クスの側面から考察するために必要な基礎事項や 分析手法、特に逆動力学的計算について解説す る。具体的には、並進運動および回転運動におけ る力学的法則を確認した後、剛体リンクモデルに よる関節トルク算出手法について解説する。その 際に、身体部分慣性特性係数についても解説する とともに、体育総合実験棟において身体運動の計 測方法、地面反力の計測方法についても実演を行 う。さらに、得られたデータをもとに、動作の変 動性係数や動作逸脱度を用いた身体運動を評価す る方法を解説する。	OATP402と同一。 AT必修科目。対面
01EH577	スポーツ用具と動きの しくみ	1	1.0	1・2	春AB	金2		小池 関也	スポーツ用具の性能向上のためのしくみについて 紹介するとともに、パフォーマンス実現のための 動きのしくみ(メカニズム)について解説する。用 具として、各種打具、シューズ、各種ボール、水 着などを例に挙げ、パフォーマンスに関係する各 種特性について、物理的な現象あるいは生体力 学的な視点から解説する。つぎに、スポーツ動作 の各種分析手法を紹介したのちに、これらの分析 手法を活用して得た各種動作の分析結果から、ス ポーツ動作における動きのしくみについて解説 し、パフォーマンスの発揮メカニズムについて紹 介する。	OATP403と同一。 オンライン(同時双方 向型)
01EH237	アスレティックコン ディショニング論特講	1	2.0	1	秋AB	月5,6	5C506	竹村 雅裕、向井 直樹、渡部 厚一、 福田 崇、金森 章 浩、高橋 英幸	競技力向上を目的としたスポーツ傷害予防やコン ディショニングの課題と方法論を多面的に解説す る。	AT必修科目 OATP410と同一。 AT必修科目。その他 の実施形態
01EH238	アスレティックリハビ リテーション論特講	1	2.0	1	春AB	月5,6	5C506	向井 直樹、竹村 雅裕、福田 崇、金 森 章浩	スポーツ選手が傷害から復帰するために必要なリ ハビリテーションの基本を学習する。	AT必修科目 OATP411と同一。 AT必修科目。その他 の実施形態
01EH563	アスレティックトレー ナー特講	1	1.0	1・2	秋B	集中		竹村 雅裕、福田 崇、柵木 聖也	アスレティックトレーナーの現状を把握し、現在 まで発展してきた経緯と遺産を理解する。歴史 的背景からみたアスレティックトレーナー成り立 ちや現代社会における特徴をまとめ、その将来を 展望する能力を養う。	AT必修科目 OATP412と同一。 AT必修科目。その他 の実施形態
01EH566	テーピング・マッサー ジ実習	3	1.5	1・2	秋B	集中	5C213	竹村 雅裕、福田 崇	テーピング及びマッサージを実施する上での運動 学的、解剖学的、生理学的な基礎知識や方法につ いて解説しながら、実習を行う。	AT必修科目 対面 各日9:00-17:00
01EH621	トレーニング学	1	2.0	1	春AB秋AB	木1		前村 公彦、谷川 聡	スポーツトレーニングを推進するための適切な目 標と課題の設定法、課題解決法や手段の選択・ 創造法、時間資源と時系列的な関連性を考慮し た計画立案法、効果的なトレーニング実践法、 トレーニング効果のアセスメント法に関する理論 を理解し、高度なトレーニング実践を展開でき る知を学習する。また、トレーニング学独自の 学領域としてのオリジナリティーとその研究方法 論について学んでいく。	AT必修科目 OASO203と同一。 オンライン(オンデマ ンド型)
01EH465	スポーツカウンセリング 論	1	1.0	1	春AB	水2		坂入 洋右	カウンセリングの基本的な理論と技法を理解する とともに、スポーツ競技者や生徒や一般成人の心 身の健康増進および競技や日常生活におけるパ フォーマンスの向上を目的とした指導や援助の基 本的技術を学ぶ。スポーツ競技者や生徒や一般成 人の心身の問題の改善やパフォーマンス向上を目 的とした心理的サポートとして、指導者や援助者 に必要なカウンセリングの理論と方法を、健康心 理学およびスポーツ心理学の最新の知見を踏まえ て学ぶ。	AT必修科目 OATP204と同一。 AT必修科目。オンライ ン(同時双方向型)

01EH439	スポーツリスクマネジメント論	1	1.0	1	秋AB	火4		齋藤 健司	スポーツ活動におけるリスクマネジメント理論の応用を検討するとともに、スポーツ事故の法的責任、安全対策および事故防止策についての理解を深める。 リスクマネジメントの枠組み、プロセスなどの理論とそのスポーツへの応用、体育・スポーツ事故の統計データと事故原因、突然死、頭部外傷、脳震盪、熱中症、溺水事故、自然災害などの原因と対策、中止基準、健康調査、スポーツ事故の法的責任、スポーツ施設の法的責任、免責同意書等の法的防御書類などについて、事故事例及び判例を交えて解説する。	OATP142と同一。 オンライン(オンデマンド型)
01EH433	スポーツマーケティング論	1	1.0	1・2	夏季休業中	集中	5C213	清水 紀宏, 醍醐 笑部	スポーツマーケティングの目的、方法に関する基礎理論を理解するとともに、商業スポーツ施設経営やスポーツイベント経営など具体的なスポーツ経営を事例にした検討を通して、実践的な考え方を養う。	OATP143と同一。 その他の実施形態原則として対面を実施するが、場合によってはオンライン(同時双方向型)を併用する。

コース科目(アスレティックコンディショニングコース)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
01EH561	運動器のしくみと働き(基礎編)	1	1.0	1・2	春AB	火3		足立 和隆	運動器を構成する骨格、筋、神経系の概要を学ぶ。生物の形態は、その機能と深いかわりを持っている。地上性の脊椎動物(哺乳類)では、基本的に自身の身体の移動のために最も適した、骨格に基盤とする身体プロポーションをもち、その骨格をその目的(歩行、走行)が効率的に行えるように筋が配置され、また筋の特性もその運動にあっている。歩行、走行以外にも重要な運動があるが、いずれの運動においても関節の構造も大切であり、関節が運動を「制限」することによって目的とした運動が実現されることになる。運動器にはさらに、腱、靭帯も重要な要素として関わっている。神経系は、これらの特性も考慮して筋に指令を出している。このようなことがらについて、詳細を解説していく。	AT必修科目 OATP401と同一。 AT必修科目。オンライン(オンデマンド型)
01EH562	運動器のしくみと働き(応用編)	1	1.0	1・2	秋AB	火3	5C506	足立 和隆	上肢の運動を上肢帯の運動、肩関節、肘関節、手関節における運動、さらに手部における運動に分け、それぞれの運動に関与する筋について、詳細を学習するとともに、これらの関節の詳細も学習する。下肢に関しても同様に、股関節、膝関節、足関節及び足部における運動に関与する筋の詳細を学習し、これらの関節の詳細も学習する。さらに、呼吸運動も含む体幹の運動についても、それに作用する筋について学習する。さらに、身体の総合的な運動である姿勢保持や歩行について、それらの分析法についても学ぶ。	AT必修科目 OATP406と同一。 AT必修科目。対面
01EH533	スポーツ栄養学特講	1	1.0	1・2	秋AB	月2		麻見 直美, 下山 寛之	時代に即したスポーツ・運動栄養学への理解を深めるために、運動(身体活動)、トレーニング、スポーツに関連した栄養、食生活、食事摂取基準、酸化ストレス、抗酸化ビタミン、エネルギー代謝、糖代謝、脂質代謝、タンパク代謝、骨(フィーマルアスリートトライアドを含む)、貧血、水分代謝、休養(睡眠・時差)などのトピックスを取りあげて、講義を行う。加えて、スポーツ栄養の今日的現場課題について問題理解と解決策検討について議論する。	AT必修科目 OATP304と同一。 AT必修科目。オンライン(オンデマンド型)
01EH576	スポーツバイオメカニクス特講	1	1.0	1	秋AB	火4	5C513	藤井 範久	スポーツ動作や様々な基礎的運動をバイオメカニクスの側面から考察するために必要な基礎事項や分析手法、特に逆動力学的計算について解説する。具体的には、並進運動および回転運動における力学的法則を確認した後、剛体リンクモデルによる関節トルク算出手法について解説する。その際に、身体部分慣性特性係数についても解説するとともに、体育総合実験棟において身体運動の計測方法、地面反力の計測方法についても実演を行う。さらに、得られたデータをもとに、動作の変動性係数や動作逸脱度を用いた身体運動を評価する方法を解説する。	OATP402と同一。 AT必修科目。対面
01EH577	スポーツ用具と動きのしくみ	1	1.0	1・2	春AB	金2		小池 関也	スポーツ用具の性能向上のためのしくみについて紹介するとともに、パフォーマンス実現のための動きのしくみ(メカニズム)について解説する。用具として、各種打具、シューズ、各種ボール、水着などを例に挙げ、パフォーマンスに関係する各種特性について、物理的な現象あるいは生体力学的な視点から解説する。つきに、スポーツ動作の各種分析手法を紹介したのちに、これらの分析手法を活用して得た各種動作の分析結果から、スポーツ動作における動きのしくみについて解説し、パフォーマンスの発揮メカニズムについて紹介する。	OATP403と同一。 オンライン(同時双方向型)

01EH237	アスレティックコンディショニング論特講	1	2.0	1	秋AB	月5,6	5C506	竹村 雅裕, 向井直樹, 渡部 厚一, 福田 崇, 金森 章浩, 高橋 英幸	競技力向上を目的としたスポーツ傷害予防やコンディショニングの課題と方法論を多面的に解説する。	AT必修科目 OATP410と同一。 AT必修科目。その他の実施形態
01EH564	アスレティックコンディショニング論実習	3	1.5	1・2	通年	応談		竹村 雅裕, 向井直樹, 金森 章浩, 福田 崇	競技力向上に関わるスポーツ傷害予防やコンディショニングの方法についてグループで実習を行う。	AT必修科目 対面
01EH238	アスレティックリハビリテーション論特講	1	2.0	1	春AB	月5,6	5C506	向井 直樹, 竹村 雅裕, 福田 崇, 金森 章浩	スポーツ選手が傷害から復帰するために必要なリハビリテーションの基本を学習する。	AT必修科目 OATP411と同一。 AT必修科目。その他の実施形態
01EH565	アスレティックリハビリテーション論実習	3	1.5	1・2	通年	応談		向井 直樹, 竹村 雅裕, 金森 章浩, 福田 崇		AT必修科目 対面
01EH563	アスレティックトレーナー特講	1	1.0	1・2	秋B	集中		竹村 雅裕, 福田 崇, 柵木 聖也	アスレティックトレーナーの現状を把握し、現在まで発展してきた経緯と遺産を理解する。歴史的背景からみたアスレティックトレーナー成り立ちや現代社会における特徴をまとめ、その将来を展望する能力を養う。	AT必修科目 OATP412と同一。 AT必修科目。その他の実施形態
01EH566	テーピング・マッサージ実習	3	1.5	1・2	秋B	集中	5C213	竹村 雅裕, 福田 崇	テーピング及びマッサージを実施する上での運動学的, 解剖学的, 生理学的な基礎知識や方法について解説しながら, 実習を行う。	AT必修科目 対面 各日9:00-17:00
01EH572	アスレティックトレーナー演習	2	1.0	1・2	秋C	集中		竹村 雅裕, 福田 崇	アスレティックトレーナーの組織的将来展望についての知見を習得することを目的として、アスレティックトレーナーとしての役割、資質、養成、教育、競技力への貢献、社会的貢献に関する文献的検討を演習形式で行う。更に、アスレティックトレーナーのアマスポーツ(学校における授業や部活動、地域スポーツクラブなど)での役割、プロスポーツ(ナショナルレベル、インターナショナルレベル)での役割に関する文献的検討も行う。	AT必修科目 OATP419と同一。 AT必修科目。対面
01EH621	トレーニング学	1	2.0	1	春AB秋AB	木1		前村 公彦, 谷川 聡	スポーツトレーニングを推進するための適切な目標と課題の設定法、課題解決法や手段の選択・創造法、時間資源と時系列的な関連性を考慮した計画立案法、効果的なトレーニング実践法、トレーニング効果のアセスメント法に関する理論を理解し、高度なトレーニング実践を展開できる知を学習する。また、トレーニング学独自の学領域としてのオリジナリティーとその研究方法論について学んでいく。	AT必修科目 OASO203と同一。 オンライン(オンデマンド型)
01EH489	体力学特講	1	1.0	1・2	春AB	金1	5C407	木塚 朝博, 鍋倉 賢治, 小野 誠司, 榎本 靖士	体力・運動能力に関する様々な概念や構成要素を復習し、発達加齢段階や各種レベルに応じた測定法、最新の解析法を解説することを通して、運動遊び、エクササイズ、トレーニングなどが、健康体力や競技体力に及ぼす効果について学ぶ。	対面で実施したいが、状況によってはオンデマンドで実施する。 OATP301と同一。 AT必修科目
01EH623	スポーツ運動学	1	1.0	1	春AB	木2		中村 剛	発生運動学としてのスポーツ運動学の学問成立の経緯、基本概念、運動の分析法を講義して、運動の実践現場および研究においてもつスポーツ運動学の意義、価値の理解を深める。具体的には、体育・スポーツ領域において使われている運動の概念についての整理、運動をゲシュタルト(運動ゲシュタルト)として認識することの重要性、現場において取り上げられる動きの質の問題、実際の動きを取り上げる際に重要になる生命的な時空間の問題、そして、「できる」ということを考える際に不可欠な身体知の問題、その「できる」を支える「動感」の問題、動きの意味と価値の問題、スポーツ運動学と現象学の関係、などについて講義する。	AT必修科目 OATP506と同一。 AT必修科目。オンライン(オンデマンド型)
01EH604	コーチングのバイオメカニクス	1	1.0	1・2	秋AB	月3	5C506	榎本 靖士	スポーツの技術やトレーニングを考えるための基礎となるバイオメカニクスの諸原則、動作の改善ループの考え方とその応用法、バイオメカニクスデータの解釈などについて解説し、これらの知識を動作の改善に活用するための基礎的能力を身につけることを学習目標とする。具体的には、スポーツ技術のバイオメカニクスのとらえ方、力学的エネルギー・効率・有効性指数の算出法の解説、選手の動きを評価・診断・改善するためのバイオメカニクスの知識の重要性の解説などを通して、客観的知識を基礎とするコーチングについて学習させる。	OATP501と同一。 対面
01EH531	スポーツ生理学特講	1	1.0	1	春AB	水2		武政 徹, 西保 岳, 藤井 直人	スポーツ、トレーニング及び健康増進に関わる骨格筋系、呼吸循環及び体温調節系の役割について理解するため、以下のキーワードに関連して解説する。 骨格筋系のキーワード: 重村式トレーニング法、筋肥大、遺伝子ドーピング、サルコペニア、冬眠、レーシングパフォーマンスを上げる遺伝子、老化を遅らせる運動 呼吸循環系のキーワード: ガス交換、酸素摂取量、血管調節、発汗調節、高地トレーニング、暑熱順化、水分調節	AT必修科目 OATP302と同一。 AT必修科目。オンライン(オンデマンド型)

01EH532	スポーツ生化学特講	1	1.0	1	春AB	火1	征矢 英昭, 岡本 正洋, 松井 崇	スポーツ生化学に関する国内外の専門書、文献、研究論文等を講読し、スポーツ生化学の対象領域、基本概念、研究方法などを学習することによって研究に必要な基礎的能力を身に着ける。運動が身心に及ぼす影響とトレーニング効果に関してスポーツ生化学の立場から理解を深め、健康や運動パフォーマンスの維持・増進のメカニズムを理解する。演習の最後に受講生の発表会を行い、教員と受講生の間で討議を行う。参考図書:脳を鍛えるには運動しかない(NHK 出版)、からだの中からストレスをみる(学会出版センター)、使えるスポーツサイエンス(講談社サイエンティ)	AT必修科目 OATP303と同一。 AT必修科目: オンライン(オンデマンド型)
01EH465	スポーツカウンセリング論	1	1.0	1	春AB	水2	坂入 洋右	カウンセリングの基本的な理論と技法を理解するとともに、スポーツ競技者や生徒や一般成人の心身の健康増進および競技や日常生活におけるパフォーマンスの向上を目的とした指導や援助の基本的技術を学ぶ。スポーツ競技者や生徒や一般成人の心身の問題の改善やパフォーマンス向上を目的とした心理的サポートとして、指導者や援助者に必要なカウンセリングの理論と方法を、健康心理学およびスポーツ心理学の最新の知見を踏まえて学ぶ。	AT必修科目 OATP204と同一。 AT必修科目: オンライン(同時双方向型)
01EH478	スポーツ心理学	1	1.0	1	夏季休業中	集中	雨宮 怜	アスリートの心理サポート現場での心理的諸問題の解説ならびに課題への対処方法について概説する。 授業項目: スポーツ心理学(臨床スポーツ心理学)の歴史と概観、心理サポートのアプローチ、スポーツメンタルトレーニングの概要、スポーツカウンセリングの概要、実践と研究、心理臨床学的方法、タレント発掘、青年期におけるスポーツ経験と人格形成、スポーツ傷害と心理(事例中心)、メンタルトレーニング事例、アスリートの相談事例	AT必修科目 OATP214と同一。 オンライン(同時双方向型)
01EH142	運動学習心理学	1	1.0	1	秋AB	月4	國部 雅大	人間の運動学習(Motor Learning)と運動制御(Motor Control)について、知覚-運動統合の過程を中心に学ぶ。	AT必修科目 OATP215と同一。 オンライン(オンデマンド型)

コース科目(コーチングコース)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
01EH621	トレーニング学	1	2.0	1	春AB秋AB	木1		前村 公彦, 谷川 聡	スポーツトレーニングを推進するための適切な目標と課題の設定法、課題解決法や手段の選択・創造法、時間資源と時系列的な関連性を考慮した計画立案法、効果的なトレーニング実践法、トレーニング効果のアセスメント法に関する理論を理解し、高度なトレーニング実践を展開できる知を学習する。また、トレーニング学独自の学領域としてのオリジナリティーとその研究方法論について学んでいく。	AT必修科目 OAS0203と同一。 オンライン(オンデマンド型)
01EH622	コーチング論(事例討議)	1	1.0	1	秋AB	月5	5C213	前村 公彦	コーチには、当該スポーツ競技/種目の技術・戦術、トレーニングの指導だけでなく、トレーニング環境を整備したり、多様なステークホルダーと連携し目標を達成していくための能力も求められる。また、その前提となる「コーチング哲学」をどのように構築するかも重要である。本講義では、コーチング現場で活躍中のコーチを招いて、コーチング実践の場における現状と課題を知り、それらをもとに学生相互で討議することによって将来のコーチングに資する実践知の獲得をめざす。	OATP503と同一。 対面
01EH623	スポーツ運動学	1	1.0	1	春AB	木2		中村 剛	発生運動学としてのスポーツ運動学の学問成立の経緯、基本概念、運動の分析法を講義して、運動の実践現場および研究においてもつスポーツ運動学の意義、価値の理解を深める。具体的には、体育・スポーツ領域において使われている運動の概念についての整理、運動をゲシュタルト(運動ゲシュタルト)として認識することの重要性、現場において取り上げられる動きの質の問題、実際の動きを取り上げる際に重要になる生命的な時空間の問題、そして、「できる」ということを考える際に不可欠な身体知の問題、その「できる」を支える「動感」の問題、動きの意味と価値の問題、スポーツ運動学と現象学の関係、などについて講義する。	AT必修科目 OATP506と同一。 AT必修科目: オンライン(オンデマンド型)

01EH604	コーチングのバイオメカニクス	1	1.0	1・2	秋AB	月3	5C506	榎本 靖士	スポーツの技術やトレーニングを考えるための基礎となるバイオメカニクスの諸原則、動作の改善ループの考え方とその応用法、バイオメカニクスデータの解釈などについて解説し、これらの知識を動作の改善に活用するための基礎的能力を身につけることを学習目標とする。具体的には、スポーツ技術のバイオメカニクスのとらえ方、力学的エネルギー・効率・有効性指数の算出法の解説、選手の動きを評価・診断・改善するためのバイオメカニクスの知識の重要性の解説などを通して、客観的知識を基礎とするコーチングについて学習させる。	OATP501と同一。 対面
01EH624	身体技法論	5	1.0	1	秋AB	金3		吉田 美和子	目標:気功、呼吸法、武術、整体法、体操、ポディワーク等の身体技法について理解し、それらと体育やスポーツとの関係や意味について、個々の身体技法として活用する方法を知る。 授業計画:東洋の身体知(embodied wisdom)に対し、西洋の身体知ともいうべきソマティクス(Somatics-身体を内側から捉える理論)の臨床的実践技法であるポディワークをテーマに、その理論的背景を学びながら、技術(art)の習得を図る。体験的解剖学に基盤つき、基本的な身体の構造や機能を学びながら、実際に動き(movement)、触れ(touch)、声を出し(vocalization)、身体の経験や気づきを言語化し(verbalization)討議を加える。前半は骨格系、後半は内臓を中心に取り上げる。	教室:武道館第1多目的 道場 対面
01EH405	武道文化論	1	1.0	1・2	秋AB	水2		酒井 利信	武道は日本で発祥し、長い歴史の中で宗教や芸能など様々な文化と交流をもちつつ独自の運動文化として成立したものである。そのユニークさゆえに海外ではジャパノロジー(日本学、日本研究)の対象ともなっている。世界で日本人がリーダーシップを取っている数少ない領域であり、将来国際社会で活躍する者にとって必須の学習課題である。近年、日本刀ブームであるが、刀剣は単なる武器ではなく古来神聖なものとして扱われてきており、実に深淵な思想体系を有している。本講義は、武道文化の中でも刀剣の思想に焦点を当て、最新の研究成果をテキストとし、PBL(Problem Based Learning)方式で学習・議論を重ねていく。	OATP507と同一。 オンライン(オンデマンド型) 2022年度限り。
01EH625	身体表現論	1	1.0	1・2	春AB	火2		寺山 由美	<私>にとって身体とは何かを問うことを通じて、「身体表現」について考察する。自らの「身体表現」と他者の「身体表現」の違いを捉え、私たちがどのようにコミュニケーションを成立させているのかを検討する。特に、ダンスの場面における事例を取り上げ、「身体表現」の特性について考える。また、身体の持つ力に着目し、「身体表現」という括りでダンスとスポーツを捉えることで、体育・スポーツ学を多角的に検討することを試みる。	教室:体育学系棟 A415(舞踊作業室) OATP505と同一。
01EH643	体操コーチング総合演習	6	1.0	1	春AB	金3	体操場	長谷川 聖修、本谷 聡	体操についての国内外の映像資料や文献を参考にしながら、その現状を討議し、問題点を探る。また、体操に関する指導方法や研究方法についても学習する。	対面
01EH644	体操競技コーチング総合演習	3	1.0	1	秋AB	金3	体操競技場	金谷 麻理子	体操競技における技術のとらえ方および指導方法について、運動の学習プロセスの体験を通して学習する。	対面
01EH645	陸上競技コーチング総合演習	5	1.0	1	春AB	金5	5C411	大山 圭悟、木越 清信	陸上競技フィールド種目の技術特性、指導法やトレーニング法について概説する。	
01EH646	水泳競技コーチング総合演習	3	1.0	1	秋AB	木3	屋内プール	仙石 泰雄	水泳競技に関わる科学的データを収集し、データの分析および客観的な解釈方法を学習する。	対面
01EH647	バレーボールコーチング総合演習	5	1.0	1	秋AB	木3	5C514	中西 康己、秋山 央	バレーボールの競技特性、技術、戦術、指導法について概説する。	対面
01EH648	バスケットボールコーチング総合演習	1	1.0	1・2	春AB	木3	5C504	池田 英治、内山 治樹	バスケットボールの特性、ルールと技術の関係、基礎的技術からゲームまでのコーチングの方法を検討する。	
01EH649	ハンドボールコーチング総合演習	6	1.0	1	秋ABC	応談	5C411	藤本 元、山田 永子	ハンドボールのコーチング実践に必要な理論の学習とコーチング実践活動を通して、さまざまな問題に対処できる専門的な指導力を身につける。	対面
01EH650	サッカーコーチング総合演習	2	1.0	1	春AB	金4	5C513	中山 雅雄	演習形式でサッカーのコーチングに関わる理論の理解を深めると同時に、コーチングの実践を通してサッカーコーチとしての能力を高める。授業の前半は主に講義形式で「サッカーの構造」「プレーの原則」「タレント発掘」「サッカーのコーチング」等について整理する。その後、各自でコーチングプランを作成し、受講者間でそのプランを洗練する作業をおこなう。後半ではそのプランに基づきコーチング実践と省察によって自身のコーチング能力を改善する。	OATP517と同一。 対面

01EH651	ラグビーコーチング総合演習	4	1.0	1	春AB	木3		嶋崎 達也	ラグビーのコーチングに関わる幾つかのトピックについて講義及び演習を行う。	オンライン(同時双方向型)
01EH652	テニスコーチング総合演習	6	1.0	1	秋C	水1,2	5C413	三橋 大輔	ストローク、ボレー、サービス動作の技術指導のあり方を検討する。	その他の実施形態要相談
01EH653	バドミントンコーチング総合演習	6	1.0	1	春AB	火4		吹田 真士	バドミントン競技の研究・指導に関する実習およびバドミントン競技能力を高めるための実習を行う。	対面
01EH654	野球コーチング総合演習	6	1.0	1	春AB	火4	5C412	川村 卓, 奈良 隆章	野球のコーチングを多角的視点から講義を行う。	専門的な内容になるので、野球経験者に限る。実施形態：要相談
01EH655	柔道コーチング総合演習	3	1.0	1	春AB	火4	柔道場	岡田 弘隆, 増地 克之	柔道の指導法を中心に実技、理論を検討する。	
01EH656	剣道コーチング総合演習	3	1.0	1	秋AB	金4	5C302	香田 郡秀, 鍋山 隆弘, 有田 祐二	剣道の試合審判規則について学習し、審判の理論と実践能力を高める。	対面
01EH657	弓道コーチング総合演習	6	1.0	1	秋AB	火3	弓道場	松尾 牧則	伝統的運動文化としての「弓道」の特性を理解するとともに、弓道指導における基礎基本となる「基本体(基本の姿勢・基本の動作)」「射法八節」についてその理論学習と実践を通じて弓道コーチングの実際を学習する。「基本の姿勢」「基本の動作」「射法八節」正しく身につけ、指導においても示範ができるようにする。また、対象に応じた指導法を理解し、安全かつ効果的に学習できる指導法を理解・習得する。	対面
01EH658	舞踊指導総合演習	6	1.0	1	秋AB	金4	ダンス場	寺山 由美	舞踊(ダンス)教育における内容の中でも表現・創作ダンス(モダンダンス)とリズム系ダンスを中心に、各々の特性と技法、指導法、上演に関する理解を深めるとともに、実習を通して基礎的、応用的な能力を養う。舞踊における身体、イメージ、リズム、動きの関係について、多様なテーマ(課題)から即興的に表現・創作するとともに、舞台に向けたダンス作品を創作、上演する。	対面 要相談
01EH659	スポーツコーチング総合演習	2	1.0	1	春AB	火4		前村 公彦, 松元 剛, 河合 季信, 谷川 聡, 木内 敦詞	個別研究領域に含まれていないスポーツ競技/種目を専門とする学生を対象に、種目横断的にその指導法についての理論や指導実践を学び、望ましいコーチング及びトレーニングの在り方を探求する。各教員の専門スポーツ競技/種目におけるコーチング実践の知、またその背景となる科学的知見を手がかりにして、自身の専門スポーツ競技/種目における先行研究の調査、コーチング実践などを行う。	研究領域に含まれているスポーツ種目を専門とする学生は、受講できない。 OATP526と同一。 オンライン(同時双方向型)
01EH660	コーチングコースインターンシップ春	3	1.0	1・2	春C夏季休業中	随時		インターンシップ担当教員、三橋 大輔, 吹田 真士, 大山 圭悟, 池田 英治, 新竹 優子, 成瀬 和弥	春学期から夏季休業期間にかけて、スポーツや健康に関連する様々な組織(例えば、プロスポーツクラブ、学校における授業や部活動、スポーツ施設など)において、事前の学習計画に基づいて現場で実習を行う。このインターンシップによって、通常の教育課程では学ぶことのできない高度で実践的な経験を積むことができ、より専門的な知識やスキルを学び、社会で実践できる能力を養う。	同一コースの履修は、春または秋のどちらか1つとする。manabaを用いて夏季休業中に開講する。 OATP530と同一。 その他の実施形態
01EH673	コーチングコースインターンシップ秋	3	1.0	1	秋C春季休業中	随時		インターンシップ担当教員、三橋 大輔, 吹田 真士, 大山 圭悟, 新竹 優子, 池田 英治, 成瀬 和弥	秋学期から春季休業期間にかけて、スポーツや健康に関連する様々な組織(例えば、プロスポーツクラブ、学校における授業や部活動、スポーツ施設など)において、事前の学習計画に基づいて現場で実習を行う。このインターンシップによって、通常の教育課程では学ぶことのできない高度で実践的な経験を積むことができ、より専門的な知識やスキルを学び、社会で実践できる能力を養う。	同一コースの履修は、春または秋のどちらか1つとする。 OATP531と同一。 その他の実施形態
01EH676	競技マネジメント論	1	1.0	1	秋A	集中	5C213	尾縣 貢, 山口 香, 高橋 義雄	国内外のスポーツ競技団体、スポーツリーグ組織、スポーツクラブ・チームを対象にマネジメントの視点から検討し、スポーツ関係組織・機構の経営に関する基本的な知見を学習するとともに、当該領域における当面の問題を明らかにし、基本的研究課題を理解する。	教室:5C108 OATP540と同一。 対面
01EH677	舞踊上演マネジメント論	1	1.0	1	春AB	水2		平山 素子	舞踊公演やイベントの企画・運営を取り扱い、過去に行われた舞踊公演の例に、実情や問題点を検証する。また、現在、活発に行われている舞踊公演の仕組みや、様々な形態のイベントについて学ぶ。さらに、独自のイベントを企画・運営するための知識として、イベントに関わる経済的問題、様々な助成制度とその活用方法を学ぶ。	OATP541と同一。 オンライン(同時双方向型)

01EH678	スポーツ情報戦略論	1	1.0	1	秋AB	火5	河合 季信	競技スポーツにおいて、情報をどのように活かすかが競技パフォーマンスに大きく影響する。競技スポーツにおける「情報」とは、単に自チームやライバル/相手チームのスカウティング情報だけでなく、ルールや人事に関する情報、マテリアルやテクノロジーに関する情報などの競技を取り巻く情報、さらには経済や社会の環境変化に関するより広い視点での情報も競技パフォーマンスに関係している。これらの情報を戦略にマッチさせながら、どのようにマネジメントするかについて、実践知をもとに体系的に学ぶ。	OATP542と同一。 オンライン(オンデマンド型)
01EH439	スポーツリスクマネジメント論	1	1.0	1	秋AB	火4	齋藤 健司	スポーツ活動におけるリスクマネジメント理論の応用を検討するとともに、スポーツ事故の法的責任、安全対策および事故防止策についての理解を深める。 リスクマネジメントの枠組み、プロセスなどの理論とそのスポーツへの応用、体育・スポーツ事故の統計データと事故原因、突然死、頭部外傷、脳震盪、熱中症、溺水事故、自然災害などの原因と対策、中止基準、健康調査、スポーツ事故の法的責任、スポーツ施設の法的責任、免責同意書等の法的防御書類などについて、事故事例及び判例を交えて解説する。	OATP142と同一。 オンライン(オンデマンド型)
01EH401	フェアプレイ論	1	1.0	1・2	秋C	木5,6	深澤 浩洋	フェアネスの歴史の概観やフェアプレイを奨励する運動を踏まえ、フェアプレイが主張される意味について、複数の価値観、道徳観から考察する。また、フェアプレイを奨励する運動に言及する。実際にフェアプレイに徹するスポーツパーソンを育成するにはどうしたらよいか、どのようにフェアプレイ教育を展開していけばよいかということについて考察し、自分なりの見解を論理的に展開できることを目標とする。 フェアネスの概念、スポーツのルールとエトス、フェアプレイの歴史、フェアプレイをめぐる問題の語られ方(個人と組織)、アンフェアの背景、フェアプレイキャンペーン、フェアプレイ奨励の方策、フェアプレイ教育の構想	OATP110と同一。 オンライン(オンデマンド型)
01EH478	スポーツ心理学	1	1.0	1	夏季休業中	集中	雨宮 怜	アスリートの心理サポート現場での心理的諸問題の解説ならびに課題への対処方法について概説する。 授業項目:スポーツ心理学(臨床スポーツ心理学)の歴史と概観、心理サポートのアプローチ、スポーツメンタルトレーニングの概要、スポーツカウンセリングの概要、実践と研究、心理臨床学的方法、タレント発掘、青年期におけるスポーツ経験と人格形成、スポーツ傷害と心理(事例中心)、メンタルトレーニング事例、アスリートの相談事例	AT必修科目 OATP214と同一。 オンライン(同時双方向型)
01EH561	運動器のしくみと働き(基礎編)	1	1.0	1・2	春AB	火3	足立 和隆	運動器を構成する骨格、筋、神経系の概要を学ぶ。生物の形態は、その機能と深いかわりを持っている。地上性の脊椎動物(哺乳類)では、基本的に自身の身体の移動のために最も適した、骨格に基盤とする身体プロポジションをもち、その骨格をその目的(歩行、走行)が効率的に行えるように筋が配置され、また筋の特性もその運動にあっている。歩行、走行以外にも重要な運動があるが、いずれの運動においても関節の構造も大切であり、関節が運動を「制限」することによって目的とした運動が実現されることになる。運動器にはさらに、腱、靭帯も重要な要素として関わっている。神経系は、これらの特性も考慮して筋に指令を出している。このようなことがらについて、詳細を解説していく。	AT必修科目 OATP401と同一。 AT必修科目:オンライン(オンデマンド型)
01EH577	スポーツ用具と動きのしくみ	1	1.0	1・2	春AB	金2	小池 関也	スポーツ用具の性能向上のためのしくみについて紹介するとともに、パフォーマンス実現のための動きのしくみ(メカニズム)について解説する。用具として、各種打具、シューズ、各種ボール、水着などを例に挙げ、パフォーマンスに関係する各種特性について、物理的な現象面あるいは生体力学的な視点から解説する。つぎに、スポーツ動作の各種分析手法を紹介したのちに、これらの分析手法を活用して得た各種動作の分析結果から、スポーツ動作における動きのしくみについて解説し、パフォーマンスの発揮メカニズムについて紹介する。	OATP403と同一。 オンライン(同時双方向型)

01EH531	スポーツ生理学特講	1	1.0	1	春AB	水2		武政 徹, 西保 岳, 藤井 直人	スポーツ、トレーニング及び健康増進に関わる骨格筋系、呼吸循環及び体温調節系の役割について理解するため、以下のキーワードに関連して解説する。 骨格筋系のキーワード: 重村式トレーニング法、筋肥大、遺伝子ドーピング、サルコペニア、冬眠、レーシングパフォーマンスを上げる遺伝子、老化を遅らせる運動 呼吸循環系のキーワード: ガス交換、酸素摂取量、血管調節、発汗調節、高地トレーニング、暑熱順化、水分調節	AT必修科目 OATP302と同一。 AT必修科目: オンライン(オンデマンド型)
01EH237	アスレティックコンディショニング論特講	1	2.0	1	秋AB	月5, 6	5C506	竹村 雅裕, 向井 直樹, 渡部 厚一, 福田 崇, 金森 章浩, 高橋 英幸	競技力向上を目的としたスポーツ傷害予防やコンディショニングの課題と方法論を多面的に解説する。	AT必修科目 OATP410と同一。 AT必修科目: その他の実施形態
01EH533	スポーツ栄養学特講	1	1.0	1・2	秋AB	月2		麻見 直美, 下山 寛之	時代に即したスポーツ・運動栄養学への理解を深めるために、運動(身体活動)、トレーニング、スポーツに関連した栄養、食生活、食事摂取基準、酸化ストレス、抗酸化ビタミン、エネルギー代謝、糖代謝、脂質代謝、タンパク代謝、骨(フィーマールアスリートトライアドを含む)、貧血、水分代謝、休養(睡眠・時差)などのトピックスを取りあげて、講義を行う。加えて、スポーツ栄養の今日的現場課題について問題理解と解決策検討について議論する。	AT必修科目 OATP304と同一。 AT必修科目: オンライン(オンデマンド型)

研究基礎科目

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
01EH004	体育・スポーツ学分野研究方法論	1	1.0	1・2	秋AB	金2	5C506	深澤 浩洋, 清水 諭, 坂入 洋右, 仲澤 真, 澤江 幸則, 大熊 燦雨, 國部 雅大, 大石 純子, 大林 太郎	人文社会科学の研究にとって必要な知識基盤として、様々な研究方法論の基礎を学習する。論文執筆のために必要な手順について理解し、人文社会科学の研究手法論について興味を持ち、理解するための基礎を自ら学んでいくことを目的とする。	OATP001と同一。 その他の実施形態 原則オンライン(オンデマンド型)で実施するが、一部対面で実施。
01EH005	健康体力学分野研究方法論	1	1.0	1・2	春AB	月1		中田 由夫, 小池 関也, 武田 文, 麻見 直美, 木塚 朝博, 竹村 雅裕, 武政 徹, 征矢 英昭, 西嶋 尚彦	体育学における健康体力学分野の研究に必要な概念と研究方法について学び、自ら研究計画を立案できる基礎を作る。	OATP002と同一。 オンライン(オンデマンド型)
01EH006	コーチング学分野研究方法論	1	1.0	1・2	春AB	月3		川村 卓, 大山 圭悟, 増地 克之, 吹田 真土, 渡邊 仁, 前村 公彦, 中村 剛	コーチング学の様々な研究方法に関して方法別に学ぶ。コーチングを学問として捉えるには様々な分野研究方法を学ぶ必要がある。学際的に応用できるよう、様々な角度から学習を行う。 第1回 インTRODクシヨ: 研究方法の紹介、第2回 コーチング学研究法: チームマネジメント、コーチング原論、第3回 バイオメカニクス研究法: 3次元動作分析法、キネマティクス、キネティクス、第4回 トレーニング学研究法: トレーニングの諸原則、体力評価、第5回 質的研究法: エピソード記述、事例、第6回 アンケートの方法: 質問紙法、多変量解析、第7回 運動学研究法: マイネル、現象学的還元、第8回 生理学研究法: 最大酸素摂取量、AT、第9回 コーチング学における統計学: 確率、基本統計量、第10回 まとめ	OATP003と同一。 オンライン(オンデマンド型)
01EH011	研究ワークショップI	7	1.0	1	秋AB	月5	5C513	坂入 洋右, 大藏 倫博, 仙石 泰雄	スポーツ・健康科学領域における研究テーマについて、受講生各自が学会等において発表するために必要な知識と方法を、講義、演習、発表練習およびディスカッションを通して学ぶ。	対面
01EH013	研究基礎共通実習(PBL)	6	1.0	1・2	春AB	月5	5C511, 5C512, 5C513	片岡 千恵, 清水 諭, 佐藤 貴弘, 岡本 正洋, 奈良 隆章, 野中 由紀	本授業は、日本国内および国際的な社会課題を発見し、体育・スポーツ・健康の分野から課題解決のためのプロジェクトを企画する過程を、グループでの協働作業を通して学ぶことを目的とする。授業は、チューターとしての教員と少人数のグループを構成する学生によって進められる。具体的にはまず、社会課題を整理するとともに、日本のスポーツ政策や東京2020大会レガシーについて共通理解する。そして、焦点を当てたい社会課題について各自が自分の意見を述べた後、グループ学習によってそれぞれの課題の解決に向けたプロジェクトを企画し、発表する。学生はこうした過程を通して、発言者の意図を理解し、グループの目的を達成するために効果的なコミュニケーションのあり方を学ぶ。	対面 (ただし、オンライン(同時双方向型)に変更する可能性もある。)

01EH014	健康・スポーツ科学のための統計学	1	2.0	1・2	春AB 春C	水1 集中	西嶋 尚彦, 大蔵 倫博	健康科学研究とスポーツ科学研究での実験と調査から得られるデータ分析の手法を実践し、数理モデルなどの理論を理解することを通して、研究データの統計分析の実践技能を養う。 基礎的および先進的な健康・スポーツ科学研究に用いる統計的分析法について概説する。	OATP012と同一。 オンライン(オンデマンド型)
01EH143	健康・スポーツ科学のための英語上級	2	1.0	1・2	春AB	木1	ラクワール ラン ディーブ	体育並びにスポーツ科学に関連した、より高度な英語の読解力並びに表現力を身につける。 (Objective of this course is to improve writing listening, and speaking ability in English in Physical Education and Sport Science at an advanced level.)	英語で授業。 対面
01EH016	つくばサマーインスティテュート	1	2.0	1・2	春C	集中	佐藤 貴弘	筑波大学体育系と学術協定を結んでいる海外の大学と共同で企画する、英語を公用語とするプログラムである。体育・スポーツ領域にかかわる大学生・大学院生、若手研究者を対象とし、日本の体育・スポーツ文化を理解し、体育・スポーツ教育、スポーツ科学に関わる諸外国の現状と課題について情報を共有し、協力して国際的課題に取り組むグローバル人材として資質の向上を図ることをねらいとする。	その他の実施形態
01EH024	International Sport Policy Studies(国際スポーツ政策研究)	1	1.0	1・2	春C	集中	永田 真一	本講義では、主に英国やヨーロッパにおける事例を紹介しながら、スポーツ政策の国際的動向について把握するとともに、それらの諸実践を分析するための理論的枠組みについて理解することを目的とする。具体的には、教員による講義および履修学生によるプレゼンテーションを通して、開発と平和のためのスポーツ、エリートスポーツ、オリンピック・パラリンピックのレガシーなどに関わる政策を対象としながら、スポーツ政策の国際的動向と課題、そして今後の可能性について学修する。	OATP021と同一。 英語で授業。 オンライン(同時双方向型)
01EH025	Advanced Coach Education(上級コーチ教育論)	1	1.0	1・2	春AB	水2	松元 剛, 和久 貴 洋, 渡部 厚一, 福 田 崇	トレーニング方法、情報戦略、国際的な動向など、指導者の質保障を多面的にとらえ、指導者育成の観点からコーチ教育について考える。	筑波開設科目。 OATP022と同一。 英語で授業。 オンライン(同時双方向型)
01EH026	Management and Organization(経営マネジメント論)	1	1.0	1・2	春C	集中	山口 拓	スポーツ国際開発学の理論と実践を概観し、国際的・社会的・文化的な課題解決に向けたスポーツによる取り組みを学ぶ。 講義では、特に開発課題に焦点化して、諸課題の特性と持続可能な平和的社会的実現に向けたスポーツの役割に関して討論形式で学ぶ。 更に、スポーツ国際開発(IDS)のマッピング、NGOでのIDS活動、組織マネジメント理論、ケース探索と理論的適応などを議論を踏まえて検討する。	OATP023と同一。 英語で授業。 その他の実施形態 オンライン(オンデマンド型と同時双方向型を併用する。)
01EH027	Project Management(プロジェクトマネジメント論)	1	1.0	1・2	秋B	集中	山口 拓	開発援助の実践力を高めるべくロジックモデルを改変された「プロジェクト・サイクル・マネジメント」に沿った計画・評価の手法を学ぶ。 ・基礎講座:国際協力のトレンド、プロジェクトのPDCAサイクル ・実践講座:ケールスタディーを用いた実践的検討:プロジェクト・サイクル・マネジメント(PCM)、プロジェクト・デザイン・マトリックス(PDM)、評価・モニタリング手法	GS1棟301 OATP024と同一。 英語で授業。 対面
01EH028	JSC Seminar(JSCセミナー)	2	1.0	1・2	春C秋ABC	随時	清水 諭, 和久 貴 洋, 勝田 隆	スポーツの推進に寄与するスポーツイノベーション人材を戦略的に発掘・育成する。日本スポーツ振興センターの持つ資源や事業を活用してスポーツ現場における組織間の越境学習を行い、人材育成ノウハウ、カスタマイズ型の育成プログラムを学ぶ。目標は、以下の通り。 1. 国際舞台において、「1 指導的役割(コーチング)」や「2 スポーツ事業を企画・推進する役割(スポーツアドミニストレーター)」を担う人材に求められる資質や能力を育成する。 2. グローバルかつイノベーション人材の発掘や育成、活用のために必要なシステムおよびプログラムなどについて実践的に学習する。プロジェクト会議、ワークショップ、カンファレンス企画及び開催、コンサルテーション活動などを視察・支援するために不可欠な基礎知識や情報、物事の見方等を身につける。	日本語と英語による。 筑波開設科目。 OATP031と同一。 その他の実施形態
01EH029	JSC Project(JSCプロジェクト)	1	1.0	1・2	春C秋ABC	随時	清水 諭, 和久 貴 洋, 勝田 隆	スポーツ界の最前線における多種多様な職務経験の機会を幅広い候補者に提供していく。日本スポーツ振興センターが保有する資源(各種受託事業、JISS、国際連携等)を活用することによって、パートナーシップ締結団体の組織の壁を越えた「越境学習」プログラムを遂行する。組織や人材の連携と協働、あるいは「スポーツ資源の開発」の基礎的経験を通して、「人の間」に入り尽力するために、自分自身の課題や将来構想のヒントを経営的な視点から整理できる能力を身につける。	日本語と英語による。 筑波開設科目。 OATP032と同一。 その他の実施形態

01EH030	On the Job Practice (Domestic)	3	2.0	1	春秋ABC	随時		清水 諭, 和久 貴洋, 勝田 隆	日本スポーツ振興センターなどのスポーツおよび国際開発に関連する組織において4週間の研修を行う。 スポーツと国際開発に関連のある組織の活動に関わることで、実践経験を積む。各自の興味関心、ニーズや強みなどの理解し、組織における事業の特徴や経営方針などを理解する。こうした学習を通して、受講生各自がキャリアプランを構築する。	日本語と英語による。 筑波開設科目。 OATP033と同一。
01EH032	Sport, Culture and Society (スポーツ・文化・社会)	1	1.0	1・2	秋AB	木1		清水 諭	スポーツ社会学における理論と実践的研究を基礎にして、スポーツを通じた国際開発と平和構築に関する批判的思考力を身に着ける。 スポーツと身体に関する具体的事例について討議を行い、権力の作用について学習する。IDS・SDPの理論について理解し、実践に関する批判的思考力を身に着ける。	筑波開設科目。 OATP041と同一。 英語で授業。 オンライン(同時双方向型)
01EH044	Olympic and Paralympic History (オリンピック・パラリンピック史)	1	1.0	1	秋AB	火1		澤江 幸則, 大林 太郎	オリンピック競技会、パラリンピック競技会の歴史について、その始まりと発展過程について今日的課題とともに学ぶ。授業計画は次のとおり。 (1) 古代オリンピックの起源と展開について、(2) ネメア競技祭の復興と展開について、(3) イギリスと近代ギリシャにおける古代オリンピック復興、(4) 近代オリンピックの展開、(5) 日本におけるオリンピック競技会の歴史、(6) ストックマンデビル競技会の創設、(7) パラリンピック競技会の創設と発展、(8) 日本におけるパラリンピック競技会の歴史、(9) 筑波大学とオリンピックの歴史。	原則として、体育学専攻所属学生のみ履修可。 OAS0204と同一。 英語で授業。 オンライン(オンデマンド型)

寄附講座

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
01EH751	アダプテッド体育・スポーツ指導理論実習	7	2.0	1・2	通年	応談		松原 豊, 齊藤 まゆみ	障がい者スポーツセンター、特別支援学校、児童福祉施設、地域の障がい者スポーツクラブなど、アダプテッド体育・スポーツの現場における具体的な実践を通して、プログラム作成や指導を学ぶ。	アダプテッド体育・スポーツ学演習Iを履修済みの者に限る。 OATP7J3と同一。 オンライン(同時双方向型)